

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                                     |  |                      |                         |            |      |
|-------------------------------------|--|----------------------|-------------------------|------------|------|
| <b>事務事業名</b>                        | 環境推進<br>(環境保全に向けた普及啓発)   | <b>部課名</b>           | 環境清掃部環境課                | <b>課長名</b> | 松土民雄 |
|                                     |  | <b>担当者名</b>          | 海老沼 保和                  | <b>内線</b>  | 482  |
| <b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(21年度)</b> |  | 環境推進事務費(28-33-33-01) |                         |            |      |
| <b>事務事業の種類</b>                      | 新規事業 (21年度 20年度)   | 建設事業                 |                         | それ以外の継続事業  |      |
| <b>開始年度</b>                         | 昭和 平成 4年度  | <b>根拠</b>            | 環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進 |            |      |
| <b>終期設定</b>                         | 有 無 年度   | <b>法令等</b>           | に関する法律・荒川区環境基本計画        |            |      |
| <b>実施基準</b>                         | 法令基準内 都基準内 区独自基準   | <b>計画区分</b>          | 計画                      | 非計画        |      |
| <b>行政評価事業体系</b>                     | <b>分野</b>  | 環境先進都市[ ]            |                         |            |      |
|                                     | <b>政策</b>  | 地球環境を守るまちの実現[07]     |                         |            |      |
|                                     | <b>施策</b>  | 環境配慮活動の推進[07-01]     |                         |            |      |
| <b>目的</b>                           | 各種普及・啓発事業を通して、区民一人ひとりが環境配慮行動を推進するよう、環境保全に関する意識の浸透を図る。  |                      |                         |            |      |
| <b>対象者等</b>                         | 環境月間事業：区民一般 エコポスター・エコ標語コンクール：区内小中学生 区民活動支援：エコフレンド等区民環境活動団体 環境に関する講座：区民一般 情報紙の発行：区民一般 地球を守る区民会議：区民一般  |                      |                         |            |      |
| <b>内容</b>                           | <p>環境月間事業(6月)</p> <p>環境保全意識の普及・啓発のため、環境・清掃フェア(12年度までは環境フェア)や環境問題に関するパネルを展示する環境展、環境問題講演会などを実施。18年度の環境・清掃フェアは川の手あらかわまつりと同時開催した。</p> <p>エコポスター・エコ標語コンクール</p> <p>ポスターや標語を作ることをおとして、環境保全や環境美化に対する小中学生の意識の啓発を図るとともに、作品を区が作成するポスターやパンフレット等で活用し、広く区民へ普及する。</p> <p>区民活動支援</p> <p>地域の環境保全活動を区民が主体的に進めるため、エコフレンドや東京都環境学習リーダー、あらかわ環境サポーターなどによる講座や緑のリサイクル交換会等の区民の活動を支援する。</p> <p>環境に関する講座</p> <p>区民一般に広く環境情報を提供し、環境に対する関心を深め、環境問題への積極的行動のきっかけとするため、各種の講座を実施する。</p> <p>情報紙の発行 環境に関するタイムリーな情報をわかりやすく周知するため、「あらかん」を発行している。</p> <p>地球を守る区民会議</p> <p>区民や事業者が行っている環境への取り組みの発表の場とするとともに、各団体の連携と協働を強化し、環境保全活動を効果的に実践するための意見交換を行う。</p>   |                      |                         |            |      |
| <b>経過</b>                           | <p>環境月間事業(6月)</p> <p>平成4年度から2回のイベント(環境フェア、アートクラフト展)を実施。平成8年度から環境月間に合わせてイベントを統合。</p> <p>平成18年度は川の手あらかわまつりの20周年記念事業として荒川工業高校で同時開催した。20年度の環境月間事業としては、環境清掃フェア、環境展、花ちゃんネットワークを行った。</p> <p>エコポスター・エコ標語コンクール ポスターは平成7年度、標語は9年度(美化標語)を実施。11年度から統合して実施。</p> <p>区民活動支援</p> <p>エコフレンド(平成7年～9年度に実施したエコフレンド養成講座の修了生49名)、環境サポーター(16年度から実施のあらかわ環境まなぼ一教室の修了者49名)などの活動に対して会場提供や講師派遣などの支援を実施。19年度はエコフレンドは年2回の花ちゃんネットワークを実施。環境サポーターは尾久小学校や第二峡田小学校等で環境学習として緑のカーテンを作成した。</p> <p>環境に関する講座</p> <p>11年度から区民一般を対象に講座を実施。16年度から6回連続のあらかわ環境まなぼ一教室を実施。修了者は環境サポーターとして区内の環境活動を自主的に展開している。</p> <p>情報誌の発行</p> <p>11年度から環境情報誌「あらかん」を発行し、平成20年度は年1回(発行部数650部/回)、22区や図書館、学校に配布している。</p> <p>地球を守る区民会議 18年8月設置、登録者345名、20年度は3回開催した。</p> <p>マイバッグコンテスト 20年9月募集予定。マイバッグの普及啓発及びレジ袋の削減を目的として開催する。</p> |                      |                         |            |      |
| <b>必要性</b>                          | 深刻化する地球温暖化、ヒートアイランド現象などについての理解を深め、区民一人ひとりが環境負荷を軽減するために行動することが、一層重要になっている。区民に最も身近な基礎的自治体として、区民との協働を推進するためのさまざまな普及啓発は不可欠であり、その必要性は高い。  |                      |                         |            |      |
| <b>実施方法</b>                         | ( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )  |                      |                         |            |      |

| 予算・決算額等の推移    | (単位：千円)          |             |             |             |             |             |             |             |
|---------------|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|               | 15年度             | 16年度        | 17年度        | 18年度        | 19年度        | 20年度        | 21年度        |             |
| 予算額           | 2,947            | 3,097       | 7,229       | 7,315       | 4,650       | 5,654       | 4,598       |             |
| 決算額(21年度は見込み) | 1,774            | 2,109       | 6,422       | 6,098       | 3,400       | 4,034       | 4,598       |             |
| 人件費           |                  |             | 9,481       | 11,580      | 9,149       |             |             |             |
| 【事務分担量】(%)    |                  |             | 110         | 150         | 150         |             |             |             |
| 合計(+)         | 1,774            | 2,109       | 15,903      | 17,678      | 12,549      | 4,034       | 4,598       |             |
| 国(特定財源)       |                  |             |             |             |             |             |             |             |
| 都(特定財源)       | 0                | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| その他(特定財源)     |                  |             |             |             |             |             |             |             |
| 一般財源          | 1,774            | 2,109       | 15,903      | 17,678      | 12,549      | 4,034       | 4,598       |             |
| <b>実績の推移</b>  | <b>事項名</b>       | <b>15年度</b> | <b>16年度</b> | <b>17年度</b> | <b>18年度</b> | <b>19年度</b> | <b>20年度</b> | <b>21年度</b> |
|               | 環境・清掃フェア入場者数(人)  | 8,000       | 16,000      | 7,500       | 13,000      | 11,500      | 13,500      |             |
|               | エコポスター・標語応募者数(点) | 1,490       | 1,634       | 1,922       | 2,168       | 2,499       | 2,662       |             |
|               | あらかわ環境まなぼ一教室(回)  |             | 5           | 6           | 6           | 6           | 9           |             |
|               | その他環境に関する講座(回)   | 2           | 3           | 3           | 3           | 4           | 5           |             |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成19年度（決算）       |        | 平成20年度（決算）       |        | 平成21年度（予算）       |               |          |
|----------|---|------------------|--------|------------------|--------|------------------|---------------|----------|
|          |   | 主な事項             | 金額（千円） | 主な事項             | 金額（千円） | 主な事項             | 金額（千円）        |          |
| 決算の内訳    | 報償費   | 環境に関する講座         | 194    | 環境に関する事業・講座      | 250    | 環境に関する事業・講座      | 530           |          |
|          | 食料費   | 環境フェア弁当、区民会議贈い等  | 150    | 環境フェア弁当、区民会議等贈い  | 156    | 環境フェア弁当、区民会議等贈い  | 307           |          |
|          | 一般需用費   | 環境フェア、エコポスター記念品等 | 1,445  | 環境フェア、エコポスター記念品等 | 2,134  | 環境フェア、エコポスター記念品等 | 2,151         |          |
|          | 委託料   | 環境・清掃フェア設営委託ほか   | 1,349  | 環境・清掃フェア設営委託ほか   | 1,191  | 環境・清掃フェア設営委託ほか   | 1,138         |          |
|          | 役務費   | ボランティア保険         | 8      | ボランティア保険         | 12     | ボランティア保険         | 21            |          |
|          | 使用料及び賃借料  | 施設見学バス、会場使用料     | 254    | 施設見学バス、会場使用料     | 291    | 施設見学バス、会場使用料     | 451           |          |
| 指標       | 事務事業の成果とする指標名   |                  | 指標の推移  |                  |        |                  |               | 指標に関する説明 |
|          |   |                  | 18年度   | 19年度             | 20年度   | 21年度             | 目標値<br>(22年度) |          |
|          | 環境に関する講座の参加者数   | 380              | 317    | 462              | 400    | 500              |               |          |
| （問題点・課題） | 1．環境問題に関する各種講座の参加者の年齢が60才代以上に固定化する傾向があり、若い層の参加を促す必要がある。<br>2．区民の積極的な環境配慮行動につなげるため、環境サポーターやエコフレンドなどのグループの活動に対し、講師派遣や情報提供を行うなど、区が支援する必要がある。 |                  |        |                  |        |                  |               |          |
|          | 他区の実況   | （実施 22 区 未実施 区）  |        |                  |        |                  |               |          |

| 問題点・課題の改善策検討 |   |                                       |
|--------------|---|---------------------------------------|
|              | 平成22年度に取り組む具体的な改善内容                         | 改善により期待する効果                           |
|              | 各普及啓発事業において、区民の環境に関する意識を把握するためにアンケート等を実施する。 | より区民の意識に密着した事業開催が可能になる。               |
|              | 地球を守る区民会議の開催により、区民及び事業者・各団体等が活動交流や情報交換を行う。  | 参加者相互の連携等が可能になることから、環境保全意識が高まりが期待できる。 |
|              |   |                                       |

| 事務事業の分類      |  | 分類についての説明・意見等                                 |
|--------------|--|---|
| 前年度設定        | 今年度設定  |   |
| 継続           | 継続   | 一人ひとりの日常生活の中から環境問題を考えることで、環境保全意識を高めることが大切である。 |
|              |  |   |
| 議会議案<br>（要旨） | 平成18年度三定 ・区民わかりやすいプランづくりが必要であると同時に、多くの区民の実践が大切であると思うが区の認識を問う。<br>平成18年度四定 ・区民・事業者・区が一体となって環境政策を推進するため、「環境基本条例」を制定すべきと考えるが、区の見解を問う。 |   |

事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |   |                  |                 |     |       |
|------------------------------|---|------------------|-----------------|-----|-------|
| 事務事業名                        | 環境推進（環境基本計画、環境配慮行動計画、環境審議会）   | 部課名              | 環境清掃部環境課        | 課長名 | 松土 民雄 |
|                              |   | 担当者名             | 浜本 浩            | 内線  | 482   |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 環境推進事務(28-03-01-00)   |                  |                 |     |       |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）   | 建設事業             | それ以外の継続事業       |     |       |
| 開始年度                         | 昭和 平成 12 年度   | 根拠法令等            | 環境基本法・荒川区環境基本計画 |     |       |
| 終期設定                         | 有 無 年度  | 計画区分             | 計画              | 非計画 |       |
| 実施基準                         | 法令基準内 都基準内 区独自基準  |                  |                 |     |       |
| 行政評価事業体系                     | 分野  | 環境先進都市[ ]        |                 |     |       |
|                              | 政策  | 地球環境を守るまちの実現[07] |                 |     |       |
|                              | 施策  | 環境配慮活動の推進[07-01] |                 |     |       |
| 目的                           | 「環境先進都市」の実現には、区民・事業者・区がそれぞれの役割を認識し、具体的な環境へ配慮するための行動を実践するとともに、協働して取り組むことが必要である。本事業は、区民・事業者・区の環境意識の向上を図り、具体的な行動としての取り組みを一層、推進するものである。   |                  |                 |     |       |
| 対象者等                         | 区民・区内事業者・環境団体・環境関連事業者   |                  |                 |     |       |
| 内容                           | <p>1 荒川区環境基本計画<br/>                 区の将来に向けた環境先進都市像、基本目標や施策の方向性等、総合的な環境政策の指針を示すとともに、具体的な施策や取り組みをまとめ、区民・事業者・区（行政）のそれぞれの役割を明記し、「環境先進都市」を目指すための方向を定める。<br/>                 [新たな環境基本計画の策定]<br/>                 環境基本計画策定会議を平成19年11月に設置。（平成20年6月まで計6回開催）<br/>                 平成20年9月 荒川区環境基本計画策定</p> <p>2 あらかわ環境アクションプラン（環境配慮行動計画）<br/>                 循環型社会実現のため、省エネルギー、省資源、リサイクルをはじめ、区民・事業者・区（行政）全体を「環境区民」と総称し、環境先進都市を創造するための具体的な取り組みをまとめた「あらかわ環境アクションプラン」に基づき次のような取り組みを行う<br/>                 (1)暮らし方のプラン<br/>                 省エネ・ごみ減量・美化などを通じて環境にやさしい暮らし方を目指す<br/>                 (2)まちづくりのプラン<br/>                 環境交通、緑化、住みよい居住環境づくりなどを通じて環境優先のまちづくりを目指す<br/>                 (3)仕事の仕方のプラン<br/>                 事業者の環境配慮や推進や様々な環境情報の提供など環境を守る仕事の仕方を推進する</p> <p>3 環境審議会<br/>                 荒川区環境基本条例に基づき設置。平成21年9月に第1回の会議を開催予定</p> |                  |                 |     |       |
| 経過                           | 平成11年3月「荒川区役所環境配慮率先行動計画」を策定<br>平成13年3月「荒川区環境配慮行動計画」を策定、「荒川区役所環境配慮率先行動計画」を改定<br>平成16年3月「荒川区環境基本計画」策定<br>平成18年6月「環境都市あらかわづくり懇談会」設置<br>平成19年11月「環境配慮行動計画策定検討会」、「環境基本計画策定会議」設置<br>平成20年12月「あらかわ環境アクションプラン」策定  |                  |                 |     |       |
| 必要性                          | 地球温暖化やヒートアイランド現象など深刻な環境問題を改善し、将来の世代へより良い環境を引き継ぐ環境先進都市あらかわを実現するためには、区民・事業者・環境団体・区が一体となって取り組むことが重要であり、本事業の必要性は高い。   |                  |                 |     |       |
| 実施方法                         | （ 直営 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）<br>「エコライフチャレンジファミリー」・・・町会等に依頼して、区民に環境にやさしい取り組みを行ってもらい、記録用紙に記録する<br>「あらかわエコ協定」・・・事業者と区で一緒に作成した行動内容に基づき、実践してもらう<br>「地球を守る区民会議」・・・区民や事業者が行っている環境への取り組みの発表の場とするとともに、各団体の連携と協働を強化し、環境保全活動を効果的に実践するための意見交換を行う<br>「環境審議会」・・・審議会委員として、非常勤職員を委嘱する。  |                  |                 |     |       |

| 予算・決算額等の推移    | (単位：千円)         |      |       |        |       |       |       |      |
|---------------|-----------------|------|-------|--------|-------|-------|-------|------|
|               | 15年度            | 16年度 | 17年度  | 18年度   | 19年度  | 20年度  | 21年度  |      |
| 予算額           | 135             | 577  | 192   | 4,602  | 2,389 | 1,289 | 1,782 |      |
| 決算額（21年度は見込み） | 63              | 218  | 24    | 3,731  | 814   | 0     | 1,782 |      |
| 人件費           |                 |      | 8,619 | 9,256  | 6,282 | 5,521 |       |      |
| 【事務分担量】（%）    |                 |      | 100   | 130    | 95    | 115   |       |      |
| 合計（+）         | 63              | 218  | 8,643 | 12,987 | 7,096 | 5,521 | 1,782 |      |
| 国（特定財源）       |                 |      |       |        |       |       |       |      |
| 都（特定財源）       |                 |      |       |        |       |       |       |      |
| その他（特定財源）     |                 |      |       |        |       |       |       |      |
| 一般財源          | 63              | 218  | 8,643 | 12,987 | 7,096 | 5,521 | 1,782 |      |
| 実績の推移         | 事項名             | 15年度 | 16年度  | 17年度   | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度 |
|               | エコライフチャレンジファミリー | 552  | 1,002 | 1,382  | 1,638 | 2,046 | 2,258 |      |
|               | あらかわエコ協定        | 68   | 78    | 75     | 75    | 75    | 75    |      |
|               | 環境都市あらかわづくり懇談会  |      |       |        | 5回開催  |       |       |      |

事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 節・細節     | 平成19年度（決算） |                | 平成20年度（決算） |             | 平成21年度（予算） |             |     |
|----------|------------|----------------|------------|-------------|------------|-------------|-----|
|          | 主な事項       | 金額（千円）         | 主な事項       | 金額（千円）      | 主な事項       | 金額（千円）      |     |
| 予算・決算の内訳 | 委員報酬       |                | 審議会委員報酬    | 0           | 審議会委員報酬    | 723         |     |
|          | 報償費        | 環境基本計画策定会議委員謝礼 | 589        | 事業者講座講師謝礼   | 0          | 事業者講座講師謝礼   | 26  |
|          | 特別旅費       | 環境基本計画策定会議委員旅費 | 6          | 審議会委員費用弁償   | 0          | 審議会委員費用弁償   | 30  |
|          | 食糧費        | 配慮行動計画検討会贈い等   | 44         | 審議会贈い（お茶等）  | 0          | 審議会贈い（お茶等）  | 28  |
|          | 一般需用費      | 配慮行動計画消耗品等     | 11         | エコライフチェック用紙 | 0          | エコライフチェック用紙 | 27  |
|          | 役員費        | 環境審議会テープ反訳     | 164        | 審議会開催通知郵送料  | 0          | 環境審議会テープ反訳  | 173 |
|          | 委託料        |                |            |             |            |             |     |
|          | 使用料及び賃借料   |                |            | 事業者講座会場使用料  | 0          | 事業者講座会場使用料  | 5   |
|          |            |                |            | 審議会会場使用料    | 0          | 審議会会場使用料    | 30  |
|          | 負担金補助及び交付金 | エコアクション取得助成    | 0          | エコアクション取得助成 | 0          | エコアクション取得助成 | 300 |

| 指 | 事務事業の成果とする指標名   | 指標の推移 |       |       |               |               | 指標に関する説明 |
|---|-----------------|-------|-------|-------|---------------|---------------|----------|
|   |                 | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度          | 目標値<br>(22年度) |          |
| 標 | エコライフチャレンジファミリー | 1,638 | 2,046 | 2,258 | 2,500<br>(目標) | 5,000         | 参加世帯累計   |
|   | あらかわエコ協定        | 75    | 75    | 75    | 80<br>(目標)    | 200           | 参加事業者累計  |
|   | 審議会の開催回数        |       |       |       | 5<br>(目標)     | 5             |          |

|                  |   |
|------------------|---|
| 問題点・課題<br>(指標分析) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民や事業者の自主的な行動を促すよう、区が環境問題について、意識啓発の方法を工夫する必要がある。</li> <li>・意識啓発を行った後、環境に配慮した行動にどう結び付いたかを検証する必要がある。</li> </ul>                                     |
|                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民・事業者の環境配慮行動を促進するために、エコライフチャレンジファミリーやあらかわエコ協定、エコアクション21取得助成等の推進を図る必要がある。</li> <li>・清掃審議会、環境行動計画モデル事業協議会、環境配慮行動計画検討会との関係を整理することが必要である。</li> </ul> |
| 他区の実況            | <p>（実施 22 区 未実施 区）</p> <p>（環境審議会については、港区・新宿区・墨田区・江東区・目黒区・世田谷区・中野区・杉並区・豊島区・板橋区・練馬区・足立区で実施している。）</p>  |

| 問題点・課題の改善策検討 |   |  |
|--------------|---|--|
|              | 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容   | 改善により期待する効果                                |
|              | 商工会議所のエコ検定(18年度から開始)やISO14001、エコアクション21などの取得事業者と情報交換などの連携を図る。 | 事業者の環境配慮活動について具体的な事例が把握でき、多くの事業者へ情報発信ができる。 |
|              | エコライフチャレンジファミリー事業やエコアクション21取得助成等の推進を図る。                       | 区民や事業者の環境配慮行動の高まりが期待できる。                   |
|              | 既存の会議との役割分担をはかり、必要に応じて整理・統合する。                                | 環境行政に参画している区民の負担軽減及び課題の整理が可能となる。           |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                     |
|---------|-------|-----------------------------------|
| 前年度設定   | 今年度設定 |                                   |
| 推進      | 推進    | 「環境区民」の手による環境先進都市づくりを進めることが重要である。 |

|                |                              |
|----------------|------------------------------|
| 議会<br>要旨<br>状況 | 13年2定 環境にやさしい行動を引き出す普及啓発について |
|----------------|------------------------------|



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                  |                  |                  |              |
|------------------------------|--|------------------|------------------|------------------|--------------|
| 事務事業名                        | 環境推進<br>(区役所環境配慮率先行動計画)  | 部課名<br>担当者名      | 環境清掃部環境課<br>浜本 浩 | 課長名<br>内線        | 松土 民雄<br>482 |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(21年度) | 環境推進事務費(28-01-03-01)   |                  |                  |                  |              |
| 事務事業の種類                      | 新規事業 (21年度 20年度)   |                  | 建設事業             | それ以外の継続事業        |              |
| 開始年度                         | 昭和 平成  | 11 年度            | 根拠               | 環境基本法            |              |
| 終期設定                         | 有 無  | 年度               | 法令等              | 地球温暖化対策の推進に関する法律 |              |
| 実施基準                         | 法令基準内  | 都基準内             | 区独自基準            | 計画区分             | 計画 非計画       |
| 行政評価<br>事業体系                 | 分野   | 環境先進都市[ ]        |                  |                  |              |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現[07] |                  |                  |              |
|                              | 施策   | 環境配慮活動の推進[07-01] |                  |                  |              |
| 目的                           | 区長を本部長とする推進本部体制の下、区、自らが率先して環境負荷を軽減する行動計画を策定・推進することで、区役所の環境負荷の減少を図るほか、区民・事業者と協力して環境先進都市を目指す取り組みにつなげていく。   |                  |                  |                  |              |
| 対象者等                         | 区のすべての事務、事業及び公社等   |                  |                  |                  |              |
| 内容                           | <p>区全体の事務・事業について次の取り組みを行う。</p> <p>1 省エネルギーの推進<br/>電気・ガスの使用量の把握・管理 照明機器の管理 事務機器の省エネ管理 空調管理 エレベーターの運行管理 省エネ型のOA機器や電気製品の導入 庁有車の適正利用・管理 低公害車の導入<br/>(19年度本庁舎:電気:1,721,256Kwh、ガス:156,515m<sup>3</sup>、11年度本庁舎:電気:1,844,616Kwh、ガス:130,991m<sup>3</sup>)</p> <p>2 省資源・リサイクルの推進<br/>環境配慮の視点を考慮した製品の購入(グリーン購入)の推進 用紙類等の使用量の削減 ペーパーレスシステムの導入 水使用量の削減・節水の推進 廃棄物の発生抑制 再資源化の推進<br/>(19年度本庁舎水使用量:17,272m<sup>3</sup>、11年度本庁舎水使用量:22,240m<sup>3</sup>)</p> <p>3 快適な生活環境づくり 汚染物質の排出抑制 有害物資の適正管理・処理</p> <p>4 建築物の環境配慮の推進<br/>環境負荷の軽減 省資源・省エネルギーの推進 資源の有効活用 庁舎等の緑化の推進<br/>(公共工事では工事全体で環境負荷低減に努め、環境に配慮した資材の利用や建築器械の導入を図る)</p> <p>5 環境意識の向上<br/>環境に関する職員向けの情報の提供、職員への意識啓発、環境負荷の自己評価、環境会計等新たな環境配慮手法についての導入検討</p> <p>6 エコアクション21<br/>率先行動計画を効果的に推進するため及び対外的にPRするため、エコアクション21の認証の取得・継続。取り組み結果の報告として環境活動レポートの公表。</p> <p>7 荒川区環境先進都市推進本部の開催<br/>荒川区における環境政策の総合的かつ効果的な推進を図るため、区長を本部長とする推進本部会を開催。</p> |                  |                  |                  |              |
| 経過                           | <p>平成13年 3月 「荒川区役所環境配慮率先行動計画」改定</p> <p>平成13年 4月 「荒川区グリーン購入推進方針・調達方針」策定</p> <p>平成13年12月 「グリーン購入ネットワーク」への会員登録</p> <p>平成14年 7月 「環境評価プログラム」登録</p> <p>平成17年 5月 「エコアクション21(環境評価プログラム)」認証・登録</p> <p>平成18年12月 「エコアクション21」中間審査</p> <p>平成19年 7月 「荒川区環境先進都市推進本部」設置</p> <p>平成19年12月 「エコアクション21」更新審査</p> <p>平成20年 3月 「エコアクション21」中間審査</p>  |                  |                  |                  |              |
| 必要性                          | 地球温暖化防止や資源の有効活用など、地球環境への負荷をできるだけ軽減させる行動を区が率先して行い、区は区内最大の事業者として、区民・事業者の環境配慮行動を促す必要がある。また、「区役所環境配慮率先行動計画」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」により地方公共団体へ策定が義務づけられている「地球温暖化対策実行計画」としての要件も備えており、必要な計画である。   |                  |                  |                  |              |
| 実施方法                         | ( 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )<br>推進本部で検討し、実施する。  |                  |                  |                  |              |

|            |               | (単位:千円) |       |       |       |       |       |      |
|------------|---------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
|            |               | 15年度    | 16年度  | 17年度  | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度 |
| 予算・決算額等の推移 | 予算額           | 30      | 97    | 50    | 260   | 473   | 273   | 273  |
|            | 決算額(21年度は見込み) | 10      | 162   | 10    | 260   | 473   | 265   | 273  |
|            | 人件費           |         |       | 4,310 | 3,416 | 4,697 | 4,903 |      |
|            | 【事務分担量】(%)    |         |       | 50    | 40    | 55    | 65    |      |
|            | 合計(+)         | 10      | 162   | 4,320 | 3,676 | 5,170 | 5,168 | 273  |
|            | 国(特定財源)       |         |       |       |       |       |       |      |
|            | 都(特定財源)       |         |       |       |       |       |       |      |
| その他(特定財源)  |               |         |       |       |       |       |       |      |
| 一般財源       | 10            | 162     | 4,320 | 3,676 | 5,170 | 5,168 | 273   |      |
| 推移の実績      | 事項名           | 15年度    | 16年度  | 17年度  | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度 |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳   | 節・細節             | 平成19年度（決算）       |                 | 平成20年度（決算）      |                 | 平成21年度（予算）      |        |
|------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|
|            |                  | 主な事項             | 金額（千円）          | 主な事項            | 金額（千円）          | 主な事項            | 金額（千円） |
|            | 役務費              | 環境活動評価プログラム更新登録料 | 210             | エコアクション2.1中間審査料 | 255             | エコアクション2.1更新審査料 | 263    |
|            | 環境活動評価プログラム更新審査料 | 253              |                 |                 |                 |                 |        |
| 負担金補助及び交付金 | グリーン購入ネットワーク参加費  | 10               | グリーン購入ネットワーク参加費 | 10              | グリーン購入ネットワーク参加費 | 10              |        |
|            |                  |                  |                 |                 |                 |                 |        |
|            |                  |                  |                 |                 |                 |                 |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名             | 指標の推移  |        |      |       |               | 指標に関する説明       |
|----|---------------------------|--------|--------|------|-------|---------------|----------------|
|    |                           | 18年度   | 19年度   | 20年度 | 21年度  | 目標値<br>(22年度) |                |
| 標  | 温室効果ガス排出量<br>平成19年度比(本庁舎) | —      | —      | 算定中  | 5.0%  | 5.0%以上        | 温室効果ガス総排出量の削減率 |
|    | 温室効果ガス排出量（t）<br>(全体)      | 10,545 | 10,362 | 算定中  | 9,843 | 9,843以下       | 温室効果ガス総排出量     |
|    |                           |        |        |      |       |               |                |

|            |   |
|------------|---|
| （問題点・課題分析） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 推進本部の本部体制の強化（幹事会の活用）</li> <li>・ 率先行動計画の改定・周知</li> <li>・ 職員の環境配慮意識の啓発と行動の徹底</li> <li>・ 数値目標の設定、数値での効果の把握方法の検討</li> <li>・ 率先行動計画推進のための目標設定の検討</li> </ul> |
| 実施状況       | （ 実施 22 区                      未実施 0 区 ）  |

| 問題点・課題の改善策検討               |                                  |
|----------------------------|----------------------------------|
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容      | 改善により期待する効果                      |
| 環境活動レポートの取りまとめ方の検討を行う。     | 職員努力による削減効果が見やすくなる。              |
| 率先行動計画の職員への周知を推進員会議を通して行う。 | 新しい率先行動計画の周知により、職員の環境配慮への意識を高める。 |
|                            |                                  |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                              |
|---------|-------|--|
| 前年度設定   | 今年度設定 |  |
| 継続      | 継続    | 区役所が率先して環境負荷軽減の取り組みを行うことは、環境意識の普及啓発に有効である。 |

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 議（要質問状） | 14年1定 グリーン購入の促進について |
|---------|---------------------|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |   |                  |          |           |  |
|------------------------------|---|------------------|----------|-----------|--|
| 事務事業名                        | 学校での環境学習推進  | 部課名              | 環境清掃部環境課 | 課長名       | 松土民雄   |
|                              |   | 担当者名             | 荻原 圭司    | 内線        | 482  |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 学校での環境学習推進費(28-01-03-02)  |                  |          |           |  |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）   |                  | 建設事業     | それ以外の継続事業 |  |
| 開始年度                         | 昭和  | 平成               | 17年度     | 根拠        | 環境基本法「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」、荒川区環境基本計画 |
| 終期設定                         | 有   | 無                | 年度       | 法令等       |  |
| 実施基準                         | 法令基準内   | 都基準内             | 区独自基準    | 計画区分      | 計画 非計画   |
| 行政評価事業体系                     | 分野  | 環境先進都市[ ]        |          |           |  |
|                              | 政策  | 地球環境を守るまちの実現[07] |          |           |  |
|                              | 施策  | 環境配慮活動の推進[07-01] |          |           |  |
| 目的                           | まちの環境美化、ごみとリサイクル、地球温暖化など、身近な生活から地球規模に至るまで様々な環境問題があり、深刻さを増している。そこで、未来を担う子どもたちがこうした問題に対する理解を深め、具体的に取り組む姿勢を養っていくために、学校での環境教育を推進し、環境にやさしい子どもを育成する。  |                  |          |           |  |
| 対象者等                         | 児童・生徒、教員  |                  |          |           |  |
| 内容                           | 学習のメニュー化を行い、各学校からメニューに対する具体的な提案を募集し、審査・認定し実施する。<br>エコスクールプログラムの実施<br>自然・新エネルギー活用設備のモデル設置<br>水環境をテーマにした環境学習<br>清掃・リサイクル等環境学習の充実<br>環境学習・活動発表会<br>全小学生を対象とした環境学習会の開催 等  |                  |          |           |  |
| 経過                           | 平成17年1月 教育委員会事務局へ事業説明<br>平成17年3月 17年度実施校決定（二峡小<環境推進モデル校>、三峡小、七峡小、九峡小、大門小、ひぐらし小）<br>平成18年2月 17年度環境学習・活動発表会の開催（二峡小、九峡小、三中）<br>平成18年3月 18年度実施校決定（二峡小、七峡小、九峡小、尾久小、九中）<br>平成19年3月 18年度環境学習・活動発表会の開催（二峡小、七峡小、尾久小、ひぐらし小）<br>平成19年4月 19年度実施校決定（二瑞小、汐入小、二峡小、四峡小、七峡小、九峡小、尾久小、ひぐらし小、九中）<br>平成20年2月 19年度環境学習・活動発表会の開催（汐入小、二峡小、七峡小）<br>平成20年5月 20年度実施校決定（瑞光小、二峡小、四峡小、七峡小、九峡小、尾久小、尾久宮前小、一日小、ひぐらし小、三中、四中、五中）<br>平成21年2月 20年度環境学習・活動発表会の開催（汐入小、二峡小、七峡小、ひぐらし小、三中）<br>平成21年4月 21年度実施校決定（瑞光小、汐入小、峡田小、四峡小、五峡小、七峡小、九峡小、尾久小、赤土小、尾久宮前小、一日小、ひぐらし小、三中、四中、五中） |                  |          |           |  |
| 必要性                          | ・「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」では自治体の責務として、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的、総合的な施策を策定、実施するよう努めるものと定めている。<br>・持続可能な社会を築くためには、次代を担う子どもたちへの環境教育・活動が不可欠であり、必要性は高い。   |                  |          |           |  |
| 実施方法                         | （1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）  |                  |          |           |  |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）       |      |        |        |        |        |       |      |      |
|---------------|---------------|------|--------|--------|--------|--------|-------|------|------|
|               | 15年度          | 16年度 | 17年度   | 18年度   | 19年度   | 20年度   | 21年度  |      |      |
| 予算額           |               |      | 5,286  | 9,070  | 9,759  | 8,028  | 7,832 |      |      |
| 決算額（21年度は見込み） |               |      | 4,498  | 6,112  | 8,423  | 6,878  | 7,832 |      |      |
| 人件費           |               |      | 8,619  | 5,363  | 6,100  | 3,812  |       |      |      |
| 【事務分担量】（%）    |               |      | 100    | 70     | 100    | 45     |       |      |      |
| 合計（+）         | 0             | 0    | 13,117 | 11,475 | 14,523 | 10,690 | 7,832 |      |      |
| 国（特定財源）       |               |      | 1,143  | 1,883  | 1,883  | 784    |       |      |      |
| 都（特定財源）       |               |      |        |        |        |        |       |      |      |
| その他（特定財源）     |               |      |        |        |        |        |       |      |      |
| 一般財源          | 0             | 0    | 11,974 | 9,592  | 12,640 | 9,906  | 7,832 |      |      |
| 実績の推移         | 事項名           |      | 15年度   | 16年度   | 17年度   | 18年度   | 19年度  | 20年度 | 21年度 |
|               | 環境学習実施校       |      |        |        | 5      | 5      | 9     | 13   | 15   |
|               | 環境学習・活動発表会参加校 |      |        |        | 3      | 4      | 3     | 5    | 4    |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳   | 節・細節          | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算）     |        | 平成21年度（予算）     |        |
|------------|---------------|------------|--------|----------------|--------|----------------|--------|
|            |               | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項           | 金額（千円） | 主な事項           | 金額（千円） |
|            | 報償費           | 講師謝礼       |        | 793            | 講師謝礼   | 1,045          | 講師謝礼   |
| 旅費         |               |            |        |                |        | 尾瀬自然観察会        | 123    |
| 食糧費        |               |            |        | 環境学習発表会児童・生徒贈い | 10     | 環境学習発表会児童・生徒贈い | 24     |
| 一般需用費      | ピオトープ用草花等     | 2,499      |        | 緑のカーテン作り消耗品等   | 3,131  | 緑のカーテン作り消耗品等   | 2,932  |
| 委託料        |               |            |        | 自然観察会委託        | 88     | 自然観察会委託等       | 306    |
| 使用料及び賃借料   | 燃料電池装置の賃借等    | 3,898      |        | 燃料電池装置の賃借等     | 1,704  | 環境学習発表会会場使用料   | 98     |
| 工事請負費      | 雨水タンク設置等工事    | 1,043      |        | 学校園の柵設置工事等     | 704    | 学校園の柵設置工事等     | 2,350  |
| 備品購入費      | みみずコンポスト      | 150        |        | ピオトープ水循環備品等    | 176    | みみずコンポスト等      | 903    |
| 負担金補助及び交付金 | 低燃費自動車競技大会参加費 | 40         |        | 低燃費自動車競技大会参加費  | 20     |                |        |

| 指 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明         |
|---|---------------|-------|------|------|------|---------------|------------------|
|   |               | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |                  |
| 標 | 環境学習メニュー参加校数  | 5     | 9    | 13   | 15   | 33            | 小学校（23校）中学校（10校） |
|   |               |       |      |      |      |               |                  |
|   |               |       |      |      |      |               |                  |

|          |   |
|----------|---|
| （問題点・課題） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業を円滑かつ効率的に実施するうえでの実施小中学校への人的支援強化策の検討</li> <li>・ 児童・生徒及び教員の学習、活動成果を活用した啓発活動</li> <li>・ 自然体験型環境学習の充実</li> </ul> |
| 他区の実況    | <p style="text-align: center;">（実施 10 区 未実施 12 区）</p> <p>実施：新宿、墨田、板橋 一部実施：江東、品川、目黒、大田、豊島、足立、江戸川 今後予定：世田谷、中野、江戸川</p>                                     |

| 問題点・課題の改善策検討 |   |
|--------------|---|
|              | 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容   |
|              | <p style="text-align: center;">改善により期待する効果</p> <p>あらかじめ環境サポーターや民間NPOなどの活用により、学校（教員）の取り組みの支援を強化</p> <p>環境教育の全校実施に向け期待できる</p> |
|              |   |
|              |   |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                               |
|---------|-------|---|
| 前年度設定   | 今年度設定 |   |
| 推進      | 推進    | 次の世代を担う子ども達の環境意識を育むことは、持続可能な社会づくりにとって重要である。 |

|        |  |
|--------|--|
| 況議（要旨） |  |
|--------|--|



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                        |          |                  |       |
|------------------------------|--|------------------------|----------|------------------|-------|
| 事務事業名                        | まちの環境美化推進事業  | 部課名                    | 環境清掃部環境課 | 課長名              | 松戸 民雄 |
|                              |  | 担当者名                   | 大島淳一     | 内線               | 483   |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | まちの環境美化推進費（28-01-03-03）  |                        |          |                  |       |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                        | 建設事業     | それ以外の継続事業        |       |
| 開始年度                         | 昭和 平成  | 9 年度                   | 根拠       | 荒川区まちの環境美化条例・同規則 |       |
| 終期設定                         | 有 無  | 年度                     | 法令等      |                  |       |
| 実施基準                         | 法令基準内 都基準内 区独自基準   |                        | 計画区分     | 計画               | 非計画   |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]              |          |                  |       |
|                              | 政策   | 良好で快適な生活環境の形成[08]      |          |                  |       |
|                              | 施策   | 緑とるおい豊かな生活環境づくり[08-01] |          |                  |       |
| 目的                           | 「荒川区まちの環境美化条例」に基づき、区・区民・事業者および団体が相互に協力し合い、「わがまちはわが手で美しくする」ことを目標に、環境美化活動を実践し、清潔で美しい荒川区をつくり、区民の生活環境の向上を図ることを目的とする。   |                        |          |                  |       |
| 対象者等                         | 区民・事業者及び団体等  |                        |          |                  |       |
| 内容                           | <p>地域の美化活動支援：区民が主体的に行う美化活動に対し、職員の派遣・清掃用具の貸与等を支援<br/>                     モデル地域の指定：まちの美化の推進が特に必要な地域を「環境美化推進モデル地域」として指定し、活動を支援</p> <p>区役所周辺の美化活動：区職員による区役所周辺の美化活動を実施（年間7回）<br/>                     荒川区環境美化の日(5月30日)：関係団体との協力を得て、一斉清掃活動を実施<br/>                     区内主要駅周辺でのキャンペーン活動：まちの環境美化についての普及・啓発活動及び美化活動の実施<br/>                     環境美化大賞：美化活動等の功績が顕著な個人・団体を表彰<br/>                     （平21から土木部公園緑地課で緑化関係の顕彰制度を設けることから、荒川区環境美化大賞から緑化部門を分離し、清掃活動に対象を絞る。）</p> <p>歩きタバコの禁止：路面表示ステッカーによる啓発、駅前の歩行喫煙実態調査の実施、ポイ捨て・歩きタバコ禁止看板の設置 ポスター・懸垂幕等による周知（自転車乗車中の喫煙も禁止）<br/>                     主要駅周辺路上喫煙禁止：南千住・町屋・日暮里・西日暮里・三河島・新三河島駅周辺において、指定地域内の路上喫煙を啓発指導員のパトロールのもと禁止を指導 ポスター・チラシ・懸垂幕等による周知<br/>                     *美化の推進を重点的に実施するため、条例で定めた荒川区環境美化の日(5月30日)の前後に、環境美化推進期間(5月15日～6月14日)を設け、美化推進ポスターの掲示・キャンペーン等を実施</p> |                        |          |                  |       |
| 経過                           | 平成8年10月「荒川区まちの環境美化条例」制定、平成9年4月同条例施行、平成9年4月から普及・啓発活動・活動支援を実施している。平成20年12月に条例を一部改正し、平成21年6月改正条例を施行した。「環境美化推進モデル地域」の指定：平成15年3月町屋地域、平成15年9月日暮里地域、平成16年6月藍染川通り地域、平成17年2月南千住東部地域、平成17年5月原町会地域、（現在5地域で指定済み）   |                        |          |                  |       |
| 必要性                          | 荒川区まちの環境美化条例に基づき、「わがまちはわが手で美しくする」ことを目標として清潔で美しい荒川区をつくり維持していくためには、環境美化活動の普及・啓発・活動支援を実施する必要がある。  |                        |          |                  |       |
| 実施方法                         | （2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）<br>主要駅周辺の指定地域における路上喫煙禁止を啓発指導するため、平日の朝2時間と夕方2時間についてシルバー人材センターに業務委託をして実施している。その他のたばこ等のポイ捨て禁止及び歩きたばこ禁止等の啓発行為は環境課が直営で実施している。  |                        |          |                  |       |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）      |       |        |       |       |        |        |      |
|---------------|--------------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|------|
|               | 15年度         | 16年度  | 17年度   | 18年度  | 19年度  | 20年度   | 21年度   |      |
| 予算額           | 1,416        | 1,792 | 4,471  | 2,971 | 2,651 | 2,906  | 13,727 |      |
| 決算額（21年度は見込み） | 1,360        | 1,629 | 1,982  | 1,468 | 1,564 | 1,901  | 13,727 |      |
| 人件費           |              |       | 10,343 | 7,686 |       | 10,107 |        |      |
| 【事務分担量】（%）    |              |       | 120    | 90    |       | 130    |        |      |
| 合計（+）         | 1,360        | 1,629 | 12,325 | 9,154 | 1,564 | 12,008 | 13,727 |      |
| 国（特定財源）       |              |       |        |       |       |        |        |      |
| 都（特定財源）       |              |       |        |       |       |        | 6,102  |      |
| その他（特定財源）     |              |       |        |       |       |        |        |      |
| 一般財源          | 1,360        | 1,629 | 12,325 | 9,154 | 1,564 | 1,901  |        |      |
| 実績の推移         | 事項名          | 15年度  | 16年度   | 17年度  | 18年度  | 19年度   | 20年度   | 21年度 |
|               | 美化大賞受賞者数（個人） | 9     | 11     | 12    | 15    | 16     | 15     |      |
|               | 美化大賞受賞者数（団体） | 3     | 3      | 3     | 8     | 8      | 12     |      |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節     | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算） |        |
|----------|----------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |          | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 食糧費      | 環境美化大賞     | 49     | 環境美化大賞     | 59     | 環境美化大賞     | 79     |
|          | 一般需要     | 歩きたばこ対策    | 909    | 歩きたばこ対策    | 946    | 歩きたばこ対策    | 3,959  |
|          | 役務費      | ポスター広告掲載料  | 180    | ポスター広告掲載料  | 203    | ポスター広告掲載料  | 750    |
|          | 委託料      | 美化掲示板保守委託  | 410    | 美化掲示板保守委託  | 670    | 美化掲示板保守委託  | 8,917  |
|          | 使用料及び賃借料 | 環境美化大賞表彰式  | 17     | 環境美化大賞表彰式  | 22     | 環境美化大賞表彰式  | 22     |
|          |          |            |        |            |        |            |        |

| 指 | 事務事業の成果とする指標名   | 指標の推移 |       |       |       |               | 指標に関する説明           |
|---|-----------------|-------|-------|-------|-------|---------------|--------------------|
|   |                 | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度  | 目標値<br>(22年度) |                    |
|   | 環境美化推進期間の参加者数   | 2,482 | 2,321 | 2,581 | 1,516 | 3,000         | 環境美化推進期間活動参加者数     |
| 標 | 歩行の喫煙率（職員による調査） | 1.95% | 1.28% | 1.22% | —     | 2.00%         | 歩行喫煙者数 ÷ 歩行者 × 100 |
|   |                 |       |       |       |       |               |                    |

|          |  |
|----------|--|
| （問題点・課題） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例の禁止事項に対する罰則規定の検討</li> <li>・ まちの美化に関する状況の検証</li> <li>・ 美化活動のネットワーク化、区民への普及・啓発</li> <li>・ 地域の町会、団体等の美化活動誘導</li> <li>・ 環境美化推進モデル地域の拡大</li> <li>・ 歩行喫煙禁止・自転車乗車中の喫煙行為禁止・駅周辺の路上喫煙禁止に向けた意識啓発の活動の充実</li> <li>・ 駅周辺での路上喫煙禁止のパトロール等の指導の徹底と地区内での指定喫煙場所の確保</li> </ul> |
| 他区の実況    | <p style="text-align: center;">（実施 22 区                      未実施 0 区）</p> <p>条例の制定 21区 未制定 1区（江戸川区）</p>  |

| 問題点・課題の改善策検討                       |  |
|------------------------------------|--|
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容              | 改善により期待する効果                                    |
| 美化活動団体間の情報交換や連携を促進する。              | 各地域で別々に活動している美化活動団体の相互理解が深まり、活動のさらなる活性化が期待できる。 |
| 歩きたばこ禁止に向けて、区報等による周知や啓発指導員等の強化を図る。 | 歩きたばこ禁止の周知により、歩行喫煙率の低下が期待できる。                  |
|                                    |  |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                                 |
|---------|-------|---|
| 前年度設定   | 今年度設定 |   |
| 推進      | 推進    | 区・区民・事業者及び団体が相互に協力し合い、清潔で美しい荒川区をつくる取組みは重要である。 |

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 況議<br>（要質<br>旨問<br>状） | <p>16年2定 「歩きたばこ防止」対策（罰則規定）について</p> <p>20年4定 「荒川区まちの環境美化条例」一部改正(12月17日交付)において罰則規定を設ける意見あり(3年後再検討することです承)</p> |
|-----------------------|---|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                  |          |   |        |
|------------------------------|--|------------------|----------|---|--------|
| 事務事業名                        | 地球温暖化・ヒートアイランド対策<br>率先事業   | 部課名              | 環境清掃部環境課 | 課長名   | 松土民雄   |
|                              |  | 担当者名             | 浜本 浩     | 内線  | 482    |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 地球温暖化・ヒートアイランド対策推進費（28-01-04-01）   |                  |          |   |        |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                  | 建設事業     | それ以外の継続事業   |        |
| 開始年度                         | 昭和 平成  | 18 年度            | 根拠       | 地球温暖化防止対策の推進に関する法律、荒川区環境基本計画、荒川区役所環境配慮率先行動計画、（通称）荒川区エコ助成金交付要綱 |        |
| 終期設定                         | 有 無  | 年度               | 法令等      |   |        |
| 実施基準                         | 法令基準内  | 都基準内             | 区独自基準    | 計画区分  | 計画 非計画 |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]        |          |   |        |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現[07] |          |   |        |
|                              | 施策   | 環境配慮活動の推進[07-01] |          |   |        |
| 目的                           | 地球温暖化の防止やヒートアイランド対策を促進するため、区が区民、事業者に率先して、区施設へモデルとなる対策技術を率先導入するほか、区民及び事業者が建物等に太陽光発電システム等を設置・施工した場合、その一部を助成することで、環境に配慮した区民・事業者を増やすことを目的とする。  |                  |          |   |        |
| 対象者等                         | 区民・事業者、区施設   |                  |          |   |        |
| 内容                           | <p>1 区施設への率先導入（18年度実績）<br/>                 駐車場の芝生化モデル設置（区役所北庁舎東側駐車場 8区画設置 [約100㎡]）<br/>                 遮熱性塗装（あらかわ遊園内の一休さん号周辺、バッテリーカー、ポニー乗場待合所）</p> <p>2 エコ助成制度（20年度実績）<br/>                 （1）家庭用燃料電池設置助成（0件）<br/>                 （2）太陽光発電システム設置助成（6件、発電規模1.26kw～5.4kw）<br/>                 （3）遮熱性塗装施工助成（17件、施工規模22㎡～436.1㎡）<br/>                 （4）壁面緑化助成（5件 施工規模4.9㎡～32.7㎡）<br/>                 （5）屋上緑化助成（5件 施工規模13.8㎡～42㎡）<br/>                 （6）ガスエンジン給湯器設置助成（5件 施工規模1kw）<br/>                 （7）雨水貯水槽設置助成（6件 施工規模160～300）</p> <p>3 打ち水クール作戦（20年度実績）<br/>                 実施場所：九峡小、区役所本庁舎、各区民事務所、保育園、商店街（おぐざんざ）<br/>                 参加者：193人（保育園、商店街を除く）<br/>                 温度測定結果（九峡小）：気温 0.2（32.1 31.9） 地表温度 2.0（36.5 34.5）</p> |                  |          |   |        |
| 経過                           | 平成17年9月 二峡小へ燃料電池装置の設置（学校の環境学習推進事業）<br>平成18年5月 エコ助成金交付制度創設（家庭用燃料電池、太陽光発電システム機器、遮熱性塗装）<br>7月 区施設への対策技術導入事業のうち、遮熱性塗装施工をあらかわ遊園内で実施<br>8月 あらかわ打ち水クール作戦実施（七峡小、区役所本庁舎、区民事務所、保育園、商店街）<br>平成19年3月 区施設への対策技術導入事業のうち、芝生の駐車場設置を区役所北庁舎駐車場で実施<br>5月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（屋上・壁面緑化助成を追加）<br>12月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（ガスエンジン給湯器助成を追加）<br>平成20年5月 エコ助成金交付制度要綱一部改正（雨水貯水槽助成を追加）  |                  |          |   |        |
| 必要性                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>対策技術の導入には未だ費用の掛かるものがあり、区民・事業者の取り組みを推進するためのインセンティブとなるため、必要性は高い。</li> <li>区が率先して環境に配慮した取り組みを進めているPRにもなり、具体的な対策を推進する契機となるため、必要である。</li> </ul>  |                  |          |   |        |
| 実施方法                         | （ 1直営 ） （ 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ）  |                  |          |   |        |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円） |      |       |        |       |        |       |      |
|---------------|---------|------|-------|--------|-------|--------|-------|------|
|               | 15年度    | 16年度 | 17年度  | 18年度   | 19年度  | 20年度   | 21年度  |      |
| 予算額           |         |      | 301   | 33,736 | 7,503 | 7,908  | 6,621 |      |
| 決算額（21年度は見込み） |         |      | 301   | 7,170  | 1,242 | 5,567  | 6,621 |      |
| 人件費           |         |      | 862   | 4,509  | 6,039 | 8,909  |       |      |
| 【事務分担量】（%）    |         |      | 10    | 60     | 85    | 90     |       |      |
| 合計（ + ）       | 0       | 0    | 1,163 | 11,679 | 7,281 | 14,476 | 6,621 |      |
| 国（特定財源）       |         |      |       | 853    |       |        |       |      |
| 都（特定財源）       |         |      |       |        |       |        |       |      |
| その他（特定財源）     |         |      |       | 500    | 1,000 | 1,000  | 58    |      |
| 一般財源          | 0       | 0    | 1,163 | 10,326 | 6,281 | 13,476 | 6,563 |      |
| の実績           | 事項名     | 15年度 | 16年度  | 17年度   | 18年度  | 19年度   | 20年度  | 21年度 |
|               | エコ助成金件数 |      |       |        | 11    | 9      | 44    | 58   |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節       | 平成19年度（決算）   |        | 平成20年度（決算）   |        | 平成21年度（予算）   |        |
|----------|------------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|--------|
|          |            | 主な事項         |        | 主な事項         |        | 主な事項         |        |
|          |            |              | 金額（千円） |              | 金額（千円） |              | 金額（千円） |
|          | 一般需用費      | 打ち水キャンペーン消耗品 | 245    | 打ち水キャンペーン消耗品 | 196    | 打ち水キャンペーン消耗品 | 524    |
|          | 役務費        | 半天クリーニング     | 3      | 半天クリーニング     | 5      | 半天クリーニング     | 16     |
|          | 委託料        | 芝生の駐車場管理委託   | 110    | 芝生の駐車場管理委託   | 147    | 芝生の駐車場管理委託   | 296    |
|          | 使用料及び賃借料   | 打ち水給水車賃借     | 17     | 打ち水給水車賃借     | 18     | 打ち水給水車賃借     | 35     |
|          | 負担金補助及び交付金 | エコ助成金        | 867    | エコ助成金        | 5,201  | エコ助成金        | 5,750  |
|          |            |              |        |              |        |              |        |
|          |            |              |        |              |        |              |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明 |
|----|---------------|-------|------|------|------|---------------|----------|
|    |               | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |          |
|    | エコ助成利用件数      | 11    | 9    | 44   | 58   | 60            | エコ助成利用件数 |
|    |               |       |      |      |      |               |          |
|    |               |       |      |      |      |               |          |

|            |  |
|------------|--|
| （問題点・課題分析） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区施設への率先導入事業についての効果検証及び区施設への計画的な導入検討。</li> <li>・エコ助成金交付制度などを通じて、省エネ・新エネ技術を区民・事業者の必要性を理解してもらうほか、普及させるための方法。</li> </ul> |
| 他区の実況      | （実施 18 区                      未実施 4 区）   |
|            | エコ助成金（太陽光発電）の状況：18区  |

| 問題点・課題の改善策検討                  |  |
|-------------------------------|--|
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容         | 改善により期待する効果                                    |
| エコ助成金制度交付制度の区民や事業者に対する周知方法の検討 | エコ助成金制度交付制度を活用することで、環境に配慮した区民・事業者を増やすことが期待できる。 |
|                               |  |
|                               |  |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等  |
|---------|-------|--|
| 前年度設定   | 今年度設定 |  |
| 継続      | 推進    | 地球温暖化対策は、全地球的課題であるほか、ヒートアイランド対策は、都市部において喫緊に対応すべき課題である。 |

|        |  |
|--------|--|
| 況議（要旨） |  |
|--------|--|



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                  |          |           |  |
|------------------------------|--|------------------|----------|-----------|--|
| 事務事業名                        | 環境交通政策の推進  | 部課名              | 環境清掃部環境課 | 課長名       | 松土民雄   |
|                              |  | 担当者名             | 依田 京子    | 内線        | 482  |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 環境交通政策推進費（28-89-50-01）   |                  |          |           |  |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                  | 建設事業     | それ以外の継続事業 |  |
| 開始年度                         | 昭和   | 平成               | 18年度     | 根拠        | 地球温暖化防止対策の推進に関する法律、国土交通省環境行動計画、荒川区環境交通省エネルギー詳細ビジョン |
| 終期設定                         | 有  | 無                | 年度       | 法令等       |  |
| 実施基準                         | 法令基準内  | 都基準内             | 区独自基準    | 計画区分      | 計画 非計画   |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]        |          |           |  |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現[07] |          |           |  |
|                              | 施策   | 環境配慮活動の推進[07-01] |          |           |  |
| 目的                           | 重点地域（汐入地域）を中心に、人にも地域にも地球にもやさしい「環境交通のまち・あらかわ」の実現に向け、省エネルギー詳細ビジョンで定めた3つの重点事業の実施や普及啓発イベントの実施など、環境的に持続可能な交通施策を推進する。  |                  |          |           |  |
| 対象者等                         | 主に重点地域（汐入地域）における区民、事業者、商業施設利用者   |                  |          |           |  |
| 内容                           | <p>1 対象地域 荒川区全域（重点地域：南千住東部汐入地域）</p> <p>2 推進組織</p> <p>(1)荒川区「環境行動計画モデル事業」協議会（EST協議会）<br/>環境交通に関する事業計画の検討や、地域活動の支援や内外の団体との連携などの事業推進のための組織</p> <p>(2)普及啓発検討委員会（まちづくり検討部会・事業者検討部会の2つの部会で組織）<br/>環境交通事業の普及啓発に関する検討を行うための組織</p> <p>3 事業 「環境交通のまち あらかわ」の実現に向け、環境的に持続可能な交通施策を実施する。</p> <p>(1)CO2排出量削減のための重点事業<br/>エコドライブの推進（エコドライブ講習会の実施、後付アイドリングストップ装置導入支援助成金の支給）<br/>モビリティマネジメントの実施（転入者を対象としたコミュニケーションアンケートの実施）<br/>カーシェアリングの導入促進（カーシェアリング導入支援助成金の支給、ステーション周辺地域住民への加入促進説明会の実施、事業者向け加入促進を目的とした聞き取り調査）</p> <p>(2)その他<br/>環境交通普及啓発イベントの実施（交通事業者によるブース出展・環境にやさしい自動車の展示試乗など）<br/>小・中学校における環境交通学習会の実施（汐入小学校4～6年生・第三中学校1年生）</p> |                  |          |           |  |
| 経過                           | <p>18年12月 国土交通省環境行動計画モデル事業に選定され、19年度から3年間既存の国の補助事業を優先適用</p> <p>19年3月 環境交通政策有識者会議を設置して学識経験者、関係事業者等と検討し、区としての環境交通の方向性などを報告書としてまとめた。</p> <p>19年4月 ESTモデル事業協議会設立</p> <p>20年2月 環境交通省エネルギー詳細ビジョン策定【NEDO補助事業】</p> <p>20年6月 環境省低炭素地域づくり面的対策推進事業採択</p>  |                  |          |           |  |
| 必要性                          | CO2排出量の増大や大気汚染などの環境問題を引き起こすことから、自動車に過度に依存しない事業活動やライフスタイルへの転換が求められている。公共交通網が整備された地域特性を活かし、重点地域を中心としたCO2削減のための事業の実施及び普及啓発を図り、区内全域へと拡大していく取組は、CO2削減のみならず、区民の健康づくりや街のにぎわいの創出につながるものであり、必要性は高い。   |                  |          |           |  |
| 実施方法                         | <p>（2一部委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ESTモデル事業協議会支援業務（区単独）</li> <li>EST普及啓発事業推進のための支援業務委託（環境省）</li> <li>低炭素地域づくり面的対策推進事業委託（環境省）</li> </ul>   |                  |          |           |  |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）    |      |      |       |        |        |        |      |
|---------------|------------|------|------|-------|--------|--------|--------|------|
|               | 15年度       | 16年度 | 17年度 | 18年度  | 19年度   | 20年度   | 21年度   |      |
| 予算額           |            |      |      | 3,899 | 5,435  | 13,339 | 10,822 |      |
| 決算額（21年度は見込み） |            |      |      | 3,291 | 4,285  | 5,987  |        |      |
| 人件費           |            |      |      | 5,840 | 9,880  | 20,752 |        |      |
| 【事務分担量】（%）    |            |      |      | 90    | 180    | 245    |        |      |
| 合計（+）         | 0          | 0    | 0    | 9,131 | 14,165 | 26,739 | 0      |      |
| 国（特定財源）       |            |      |      |       |        | 21,000 |        |      |
| 都（特定財源）       |            |      |      |       |        |        |        |      |
| その他（特定財源）     |            |      |      |       | 3,147  |        |        |      |
| 一般財源          | 0          | 0    | 0    | 9,131 | 11,018 | 5,739  | 0      |      |
| 実績の推移         | 事項名        | 15年度 | 16年度 | 17年度  | 18年度   | 19年度   | 20年度   | 21年度 |
|               | 会議・協議会等開催数 |      |      |       | 13     | 14     | 7      |      |



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節         | 平成19年度（決算）       |        | 平成20年度（決算）                   |        | 平成21年度（予算）                   |        |
|----------|--------------|------------------|--------|------------------------------|--------|------------------------------|--------|
|          |              | 主な事項             | 金額（千円） | 主な事項                         | 金額（千円） | 主な事項                         | 金額（千円） |
| 予算・決算の内訳 | 8報償費         | 省エネビジョン委員会委員謝礼   | 307    | エコドライブ 教習講師謝礼                | 115    | エコドライブ 教習講師謝礼                | 250    |
|          | 9特別旅費        | 省エネビジョン委員会委員旅費   | 12     |                              |        |                              |        |
|          | 11(2)食糧費     | ESTモデル事業協議会 等    | 43     | ESTモデル事業協議会 等                | 23     | ESTモデル事業協議会 等                | 50     |
|          | 11(4)一般需用費   | 汐入小学習成果リーフレット作成等 | 137    | エコドライブ教習会消耗品等                | 181    | 転入者向けコミュニケーションアンケート印刷 等      | 886    |
|          | 12役務費        | アンケート調査郵送料       | 68     | エコドライブインストラクター派遣             | 240    | 転入者向けコミュニケーションアンケート郵送料 等     | 326    |
|          | 13委託料        | 省エネビジョン策定のための調査  | 3,718  | CO2削減効果調査、EST協議会支援業務 等       | 4,239  | CO2削減効果調査、EST協議会支援業務 等       | 7,000  |
|          | 14使用料及び賃借料   |                  |        | レンタカー賃借料、区内探訪イベント（水上バス等賃借） 等 | 496    | レンタカー賃借料、区内探訪イベント（水上バス等賃借） 等 | 600    |
|          | 19負担金補助及び交付金 |                  |        | カーシェアリング、アイドリングストップ装置助成金     | 140    | カーシェアリング、アイドリングストップ装置助成金     | 1,500  |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名    | 指標の推移 |      |      |      |           | 指標に関する説明                    |
|----|------------------|-------|------|------|------|-----------|-----------------------------|
|    |                  | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値(22年度) |                             |
| 指標 | 会議・協議会等開催数       | 13    | 14   | 7    | 9    |           | 住民・事業者・交通機関・行政が環境交通を検討する会議数 |
|    | 運輸部門におけるCO2排出削減量 |       |      | 0.7  | 1    |           | 事業の実施によるCO2排出量削減効果(目標1%)    |
|    |                  |       |      |      |      |           |                             |

|          |   |
|----------|---|
| (問題点・課題) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運輸部門におけるCO2排出削減量の目標については、ガソリン代の高騰や国による高速道路の割引制度など、事業実施による削減効果を打ち消す外的な要因が存在する。</li> <li>・重点地域から、区内全域に事業を広げていこうとする中で、新たに核となる人物の発掘や育成などが必要である。</li> </ul>                  |
| 他区の実況    | <p style="text-align: center;">（ 実施 0 区                      未実施 22 区 ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度の環境行動計画モデル事業の選定は全国で12地域、交通施策では都内初</li> <li>・20年度環境省低炭素地域づくり推進事業全国25地域、都内唯一採択</li> </ul> |

| 問題点・課題の改善策検討   |   |
|--|---|
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容  | 改善により期待する効果   |
| 自家用車への対策については、低炭素地域づくり計画における家庭部門向けの排出削減対策ともあわせて情報誌や町会掲示板への掲載など、家庭向け対策としてもあわせて取り組んでいくものとする。 | 家庭におけるCO2排出量の削減は、家計費の節約にも通じることから、より身近で自分のこととしてとらえられると期待される。 |
| 重点地域以外の地域におけるワークショップの開催や、エコセンターでの講座に出席しているなど、環境に積極的な人材を探し、中心的な存在となる人物をつくる。                 | 各地域に事業に積極的に関わる人物が増えていくことにより、この事業が重点地域だけでなく、全区的に広まっていく。      |

| 事務事業の分類 |        | 分類についての説明・意見等  |
|---------|--------|--|
| 前年度設定   | 今年度設定  |  |
| 重点的に推進  | 重点的に推進 | 「環境交通」の推進は、CO2削減に有効であるばかりでなく、区民の健康づくりや街の賑わいを創出する観点から有効である。 |

|        |   |
|--------|---|
| 議案(要旨) | 18年1定 地球環境問題<br>18年2定 都電と自転車を生かした環境交通政策<br>18年3定 地球環境問題と循環型社会づくり<br>19年2定 E S T 事業と今後 |
|--------|---|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                  |                              |          |                      |        |
|------------------------------|--|------------------|------------------------------|----------|----------------------|--------|
| 事務事業名                        | (仮称)エコセンターの開設  |                  | 部課名                          | 環境清掃部環境課 | 課長名                  | 松土民雄   |
|                              |  |                  | 担当者名                         | 寺井清隆     | 内線                   | 486    |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(21年度) |  |                  | (仮称)エコセンター管理運営費(28-01-98-01) |          |                      |        |
| 事務事業の種類                      | 新規事業 (21年度 20年度)   |                  | 建設事業                         |          | それ以外の継続事業            |        |
| 開始年度                         | 昭和   | 平成               | 19年度                         | 根拠       | 荒川区立環境学習情報センター条例     |        |
| 終期設定                         | 有  | 無                | 年度                           | 法令等      | 荒川区立環境学習情報センター条例施行規則 |        |
| 実施基準                         | 法令基準内  |                  | 都基準内                         | 区独自基準    | 計画区分                 | 計画 非計画 |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]        |                              |          |                      |        |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現[07] |                              |          |                      |        |
|                              | 施策   | 環境配慮活動の推進[07-01] |                              |          |                      |        |
| 目的                           | 環境先進都市あらかわを目指して、環境学習やリサイクル施策、環境ビジネスなど総合的に推進するため、区民等の環境活動拠点となる(仮称)エコセンターを開設する。<br>開設に当たっては、事業検討会を設置し、運営体制の検討や愛称名募集など、広く区民に利用され、親しまれる施設となるようしくみ作りを行う。  |                  |                              |          |                      |        |
| 対象者等                         | 環境団体、リサイクル団体、ボランティア、小中学生、近隣住民  |                  |                              |          |                      |        |
| 内容                           | 1 施設活用<br>旧保健所を全面改築し、1階部分を「荒川たんぼセンター(心障センター)」とし、2、3階部分を「あらかわエコセンター」とする。なお、平成23年3月までは、3階部分を荒川三丁目ひろば館建て替えに伴う代替施設として貸し出す。<br><br>2 スケジュール<br>21年1月竣工予定、21年2月開設予定<br>23年4月～3階改修、23年秋に全体(2、3階)開設  |                  |                              |          |                      |        |
| 経過                           | 平成18年11月に「(仮称)エコセンター等に関する構想策定懇談会の検討結果」が報告され、必要性及び導入機能、実施事業等について具体的内容が示された。<br>同年12月には保健所施設等活用委員会の検討結果が庁議報告され、2・3階を(仮称)エコセンターとして整備することで承認された。その後、「あらかわエコセンター事業検討会」を設置し、運営体制や啓発用に配備する備品の検討、愛称名募集などの検討を行った。<br><br>・平成21年1月竣工。2月開設<br>・平成23年4月以降、3階部分の改修、23年度中に全体(2、3階)開設 |                  |                              |          |                      |        |
| 必要性                          | 環境先進都市を目指し、多くの区民が環境や省資源・リサイクルについて具体的に取り組むために、その拠点となる常設施設の設置が必要である。   |                  |                              |          |                      |        |
| 実施方法                         | (1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)  |                  |                              |          |                      |        |

| 予算・決算額等の推移       | (単位：千円) |      |      |      |         |         |      |      |
|------------------|---------|------|------|------|---------|---------|------|------|
|                  | 15年度    | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度    | 20年度    | 21年度 |      |
| 予算額              |         |      |      | 564  | 131,301 | 219,775 | 0    |      |
| 決算額(21年度は見込み)    |         |      |      | 443  | 123,361 | 207,483 | 0    |      |
| 人件費              |         |      |      |      | 7,441   | 8,047   |      |      |
| 【事務分担当量】(%)      |         |      |      |      | 130     | 95      |      |      |
| 合計(+)            | 0       | 0    | 0    | 443  | 130,802 | 215,530 | 0    |      |
| 国(特定財源)          |         |      |      |      |         |         |      |      |
| 都(特定財源)          |         |      |      |      |         |         |      |      |
| その他(特定財源) 目的外使用料 |         |      |      |      |         | 5,000   | 0    |      |
| 一般財源             | 0       | 0    | 0    | 443  | 130,802 | 210,530 | 0    |      |
| 実績の推移            | 事項名     | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度    | 19年度    | 20年度 | 21年度 |
|                  |         |      |      |      |         |         |      |      |
|                  |         |      |      |      |         |         |      |      |
|                  |         |      |      |      |         |         |      |      |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成19年度（決算） |         | 平成20年度（決算）   |         | 平成21年度（予算） |        |
|----------|-------|------------|---------|--------------|---------|------------|--------|
|          |       | 主な事項       | 金額（千円）  | 主な事項         | 金額（千円）  | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 報償費   |            |         | 記念講演会、事業検討会等 | 319     |            |        |
|          | 旅費    |            |         | 旅費           | 35      |            |        |
|          | 食糧費   |            |         | 事業検討会賄       | 3       |            |        |
|          | 一般需用費 |            |         | 初度調弁、リーフレット  | 3,228   |            |        |
|          | 役務費   |            |         | 事業検討会テープ反訳   | 43      |            |        |
|          | 委託料   | 設計委託       | 6,566   | パス作成等        | 1,065   |            |        |
|          | 工事請負費 | 改修工事       | 116,795 | 改修工事         | 191,366 |            |        |
|          | 備品購入費 |            |         | 初度調弁         | 11,424  |            |        |
|          |       |            |         |              |         |            |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明      |
|----|---------------|-------|------|------|------|---------------|---------------|
|    |               | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |               |
|    | 1日あたり利用者数     |       |      |      | 10   | 100人          | 年間2.5万人を目標とする |
|    | 普及啓発イベントの開催数  |       |      |      | 3    | 12回           | 1月当たり1回開催     |
|    |               |       |      |      |      |               |               |

|          |   |
|----------|---|
| （問題点・課題） | <p>夜間及び休日の利用方法の検討<br/>本格オープンにあたっての設備及び実施する事業の検討及びPR方法</p>   |
| 他区の実況    | <p style="text-align: center;">（実施 13 区                      未実施 9 区）</p> <p>板橋区のような大規模専用施設から、公共施設の跡地利用による簡易な施設まで、区により実施方法は様々である。</p> |

| 問題点・課題の改善策検討                    |                             |
|---------------------------------|-----------------------------|
|                                 |                             |
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容           | 改善により期待する効果                 |
| 平成23年度の本格開設に向けて、事業の検討をさらに充実させる。 | 環境学習等の諸機能について、充実した稼働が期待できる。 |
|                                 |                             |
|                                 |                             |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                              |
|---------|-------|--|
| 前年度設定   | 今年度設定 |  |
| 重点的に推進  | 休止・完了 | 区民・事業者・区が協働して環境対策を推進するための拠点となる施設として設置を行った。 |

|      |  |
|------|--|
| （状況） | <p>19年2月5日建設環境委員会<br/>19年3月2日予算特別委員会<br/>21年1定一般質問</p> |
|------|--|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                  |          |      |                               |
|------------------------------|--|------------------|----------|------|-------------------------------|
| 事務事業名                        | 荒川・隅田川沿川自治体との交流事業  | 部課名              | 環境清掃部環境課 | 課長名  | 松土民雄                          |
|                              |  | 担当者名             | 寺本謙介     | 内線   | 483                           |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 荒川・隅田川沿川自治体との交流事業（28-01-10-01）   |                  |          |      |                               |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                  | 建設事業     |      | それ以外の継続事業                     |
| 開始年度                         | 昭和   | 平成               | 20年度     | 根拠   | 環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律 |
| 終期設定                         | 有  | 無                | 年度       | 法令等  |                               |
| 実施基準                         | 法令基準内  | 都基準内             | 区独自基準    | 計画区分 | 計画 非計画                        |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]        |          |      |                               |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現[07] |          |      |                               |
|                              | 施策   | 環境配慮活動の推進[07-01] |          |      |                               |
| 目的                           | 荒川・隅田川でつながる自治体と環境問題をテーマに交流し、沿川自治体住民と荒川区民の連携を深めることにより、区民への環境問題の啓発を図る。   |                  |          |      |                               |
| 対象者等                         | 区民、荒川・隅田川沿川自治体市民等  |                  |          |      |                               |
| 内容                           | 1 荒川・隅田川沿川中学校交流会（中学生環境サミット）<br>2 秩父市との交流事業<br>(1)どんぐりを拾う会<br>(2)薪拾い・ちちぶバイオマス発電所見学会<br>(3)下草刈りイベント<br>(4)植樹の会<br>3 秩父の間伐材を使用した木工教室開催<br>4 環境体験学習会実施 |                  |          |      |                               |
| 経過                           | 区制75周年記念事業を契機に荒川・隅田川の上流下流に住む区（市）民が連携し、環境保全を推進するための交流の場として本事業を実施した。   |                  |          |      |                               |
| 必要性                          | 荒川・隅田川の上流下流に住む区（市）民が連携することで、従前とは異なる視点で環境保全を考えることができる。  |                  |          |      |                               |
| 実施方法                         | （1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）   |                  |          |      |                               |

|            |                   | （単位：千円） |      |      |      |         |         |       |
|------------|-------------------|---------|------|------|------|---------|---------|-------|
| 予算・決算額等の推移 |                   | 15年度    | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度    | 20年度    | 21年度  |
|            |                   | 予算額     | 0    | 0    | 0    | 0       | (9,745) | 955   |
|            | 決算額（21年度は見込み）     |         |      |      |      | (9,745) | 558     | 1,549 |
|            | 人件費               |         |      |      |      |         |         |       |
|            | 【事務分担当】（%）        |         |      |      |      |         |         |       |
|            | 合計（+）             | 0       | 0    | 0    | 0    | (9,745) | 558     | 1,549 |
|            | 国（特定財源）           |         |      |      |      |         |         |       |
|            | 都（特定財源）           |         |      |      |      |         |         |       |
|            | その他（特定財源）         |         |      |      |      |         |         |       |
|            | 一般財源              | 0       | 0    | 0    | 0    | (9,745) | 558     | 1,549 |
| 実績の推移      | 事項名               | 15年度    | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度    | 20年度    | 21年度  |
|            | 中学校交流会（中学生環境サミット） |         |      |      |      | 実施      | 実施      | 実施    |
|            | 薪拾い・バイオマス発電所見学会   |         |      |      |      | 実施      | 実施      | 実施    |
|            | どんぐりを拾う会          |         |      |      |      | 実施      | 実施      | 実施    |
|            | 下草刈りイベント          |         |      |      |      |         |         | 実施    |
|            | 植樹のつどい            |         |      |      |      |         | 実施      | 実施    |
|            | 木工教室              |         |      |      |      |         |         | 実施    |
|            | 環境体験学習会           |         |      |      |      |         |         | 実施    |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節 | 平成19年度（決算） |         | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算） |        |
|----------|------|------------|---------|------------|--------|------------|--------|
|          |      | 主な事項       | 金額（千円）  | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 報償費  | 手話通訳・託児者   | (29)    | 講師謝礼       | 19     | 講師謝礼       | 195    |
|          | 旅費   | 参加自治体へ     | (26)    | 参加自治体へ     | 49     | 沿川自治体      | 117    |
|          | 需用費  | 記念品、Tシャツ等  | (300)   |            |        | 木工教室等      | 507    |
|          | 役務費  | 行事保険等      | (62)    | 行事保険等      | 34     | 交流会通信運搬等   | 170    |
|          | 使用料等 | サンパール会議室等  | (1,098) | 水上バス、大型バス  | 407    | 水上バス、バス借上  | 510    |
|          | 委託料  | 事業委託       | (8,190) |            |        |            |        |
|          | 食糧費  | 招請者昼食      | (40)    | 招請者昼食      | 50     | 中学校交流会食料   | 50     |

| 指 | 事務事業の成果とする指標名  | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明        |
|---|----------------|-------|------|------|------|---------------|-----------------|
|   |                | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |                 |
| 標 | 継続的な交流ができる自治体数 | /     | (1)  | 1    | 1    |               | 秩父市（平成19年協定を締結） |
|   | 環境サミット参加中学校数   | /     | (7校) | 7校   | 7校   |               |                 |
|   | 環境保全意識啓発の事業数   | /     | (2)  | 3    | 6    |               | 区民への啓発事業        |

|            |  |
|------------|--|
| （問題点・課題分析） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が参加しやすく、効果があがる事業の企画をいかに創造していくか課題である。実施した事業数とともに、その事業が充実した内容であることが求められる。</li> <li>・より充実した交流事業を実施するには、交流する自治体との意見交換をおこなう必要がある。</li> <li>・(仮称)「区民の森」を開設し、区民の環境保全意識の啓発と暮らしの見直しの実践につなげていく。</li> </ul> |
| 他区の実況      | （実施区 未実施区）   |

| 問題点・課題の改善策検討                    |                        |
|---------------------------------|------------------------|
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容           | 改善により期待する効果            |
| 秩父市及び沿川自治体の環境保全担当者との意見交換会を実施する。 | より実行性のある効果的な交流会が実施できる。 |
| (仮称)「区民の森」開設に向けての検討をする。         | より充実した環境保全意識の啓発ができる。   |
|                                 |                        |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等  |
|---------|-------|--|
| 前年度設定   | 今年度設定 |  |
| 重点的に推進  | 継続    | 区制施行75周年をきっかけに、はじめた事業で、ふるさとの川・隅田川を軸に沿川自治体が連携し、環境問題を考えることは大切なことである。 |

|       |  |
|-------|--|
| 議（要旨） |  |
|-------|--|



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                    |          |           |        |
|------------------------------|--|--------------------|----------|-----------|--------|
| 事務事業名                        | 公害規制   | 部課名                | 環境清掃部環境課 | 課長名       | 松土 民雄  |
|                              |  | 担当者名               | 菅野 修一郎   | 内線        | 483    |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 公害規制費（28-01-05-01）   |                    |          |           |        |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                    | 建設事業     | それ以外の継続事業 |        |
| 開始年度                         | 昭和   | 平成                 | 44年度     | 根拠        |        |
| 終期設定                         | 有  | 無                  | 年度       | 法令等       |        |
| 実施基準                         | 法令基準内  | 都基準内               | 区独自基準    | 計画区分      | 計画 非計画 |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]          |          |           |        |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現[07]   |          |           |        |
|                              | 施策   | 地域の健康と安全の確保[07-02] |          |           |        |
| 目的                           | 環境確保条例及びその他の関係法令に基づき、公害の発生源に対して必要な規制・指導を行うとともに、事業活動その他の人の活動により発生する公害苦情に対して、相談業務・指導を行うことにより、区民の健康で安全かつ快適な生活を確保することを目的とする。   |                    |          |           |        |
| 対象者等                         | 区民、事業者等  |                    |          |           |        |
| 内容                           | <p>1 工場認可、その他の届出の処理<br/>工場あるいは指定作業場を設置する時は、事前に工場認可申請あるいは指定作業場設置届出を行うことが必要である。<br/>また、「特定建設作業の届出」等の事務処理を行う。</p> <p>2 公害発生源に対する規制・指導<br/>公害発生源者に対して規制基準の遵守や公害除去対策の指導・誘導を行う。</p> <p>3 公害苦情の処理<br/>公害発生に伴う苦情申立により、公害発生源の調査を行い、公害発生源者に「環境確保条例」に基づき指導を行う。</p> <p>4 公害発生源の調査<br/>2および3に関連して、公害発生源調査を行う。</p> |                    |          |           |        |
| 経過                           | <p>昭和44年4月「公害課発足」、同年7月「東京都公害防止条例」公布。<br/>昭和45年4月「東京都公害防止条例」施行。（知事権限の一部事務が区長に委任される）<br/>平成13年4月「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」施行。<br/>平成15年4月 東京都から、騒音規制法、振動規制法及び悪臭防止法の事務が区に移譲される。</p>  |                    |          |           |        |
| 必要性                          | 騒音・振動・悪臭等の公害苦情に対し、公害発生源者に対する調査・改善指導を行うことにより、区民の健康・安全・快適な生活環境を確保することにつながるために、必要性は高い。  |                    |          |           |        |
| 実施方法                         | (1直営) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員)  |                    |          |           |        |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）      |      |      |        |        |        |      |      |
|---------------|--------------|------|------|--------|--------|--------|------|------|
|               | 15年度         | 16年度 | 17年度 | 18年度   | 19年度   | 20年度   | 21年度 |      |
| 予算額           | 783          | 505  | 711  | 716    | 1,076  | 1,149  | 875  |      |
| 決算額（21年度は見込み） | 606          | 234  | 566  | 586    | 976    | 900    | 875  |      |
| 人件費           |              |      |      | 56,016 | 44,710 | 33,715 |      |      |
| 【事務分担量】（%）    |              |      |      | 800    | 645    | 455    |      |      |
| 合計（+）         | 606          | 234  | 566  | 56,602 | 45,686 | 34,615 | 875  |      |
| 国（特定財源）       |              |      |      |        |        |        |      |      |
| 都（特定財源）       |              |      |      |        |        |        |      |      |
| その他（特定財源）     | 154          | 164  | 126  | 121    | 134    | 119    |      |      |
| 一般財源          | 452          | 70   | 440  | 56,481 | 45,552 | 34,496 | 875  |      |
| 実績の推移         | 事項名          | 15年度 | 16年度 | 17年度   | 18年度   | 19年度   | 20年度 | 21年度 |
|               | 工場認可件数       | 15   | 16   | 24     | 11     | 16     | 14   |      |
|               | 工場等現場立入調査回数  | 240  | 309  | 483    | 671    | 451    | 201  |      |
|               | 公害発生に対する苦情件数 | 103  | 125  | 177    | 190    | 212    | 171  |      |
|               | 各種届出受付件数     | 549  | 575  | 616    | 643    | 700    | 496  |      |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算） |        |
|----------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |       | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 一般需用費 | 公害規制用消耗品   | 236    | 公害規制用消耗品   | 222    | 公害規制用消耗品   | 402    |
|          | 一般需用費 | 測定機器修繕     | 0      | 測定機器修繕     | 0      | 測定機器修繕     | 60     |
|          | 委託料   | 測定機器法定点検   | 50     | 測定機器法定点検   | 151    | 測定機器法定点検   | 144    |
|          | 備品購入費 | 振動計        | 690    | 真空ポンプ      | 70     | 騒音計        | 269    |
|          |       |            |        | レベルレコーダー   | 456    |            |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移         |               |                |      |               | 指標に関する説明                 |
|----|---------------|---------------|---------------|----------------|------|---------------|--------------------------|
|    |               | 18年度          | 19年度          | 20年度           | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |                          |
|    | 工場完了届提出率      | 64%<br>(7/11) | 60%<br>(9/15) | 93%<br>(13/14) | —    | 100%          | 工場認可後の認可件数に対する完了届提出率を高める |
|    |               |               |               |                |      |               |                          |

|          |   |
|----------|---|
| (問題点・課題) | <p>最近の苦情相談では、法令等で単純に規制できない内容のものがある。<br/>                 例：ドバトへの餌やり行為に対する苦情、マンション等同一建物内の騒音など生活騒音に関する苦情、空き地の雑草等の管理の方法に対する苦情など。<br/>                 また、マンション建設工事等の反対に起因する苦情等、解決までの期間が長期にわたる例もでている。</p> |
| 他区の実況    | （実施 22 区                      未実施                      区）   |

| 問題点・課題の改善策検討   |                        |
|--|------------------------|
|  |                        |
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容                                | 改善により期待する効果            |
| 上記の問題点に対して、環境課だけではなく、関係各課と問題を共有化し、連携して苦情の早期解決を図っていく。 | 苦情の早期解決により、区民の満足度が高まる。 |
|  |                        |
|  |                        |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等   |
|---------|-------|---|
| 前年度設定   | 今年度設定 |   |
| 重点的に推進  | 推進    | 区民の健康と安全を守るため、公害の発生原因や、苦情の背景を分析し、関係部と連携して早急に課題解決を図る必要がある。 |

|      |       |
|------|-------|
| (状況) | 議会議事録 |
|------|-------|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                    |          |                       |       |
|------------------------------|--|--------------------|----------|-----------------------|-------|
| 事務事業名                        | 大気汚染対策   | 部課名                | 環境清掃部環境課 | 課長名                   | 松土 民雄 |
|                              |  | 担当者名               | 渡邊 恵男    | 内線                    | 485   |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 大気汚染対策費（28-01-06-01）   |                    |          |                       |       |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                    | 建設事業     | それ以外の継続事業             |       |
| 開始年度                         | 昭和 平成  | 45 年度              | 根拠       | 環境基本法、大気汚染防止法、ダイオキシン類 |       |
| 終期設定                         | 有 無  | 年度                 | 法令等      | 対策特別措置法               |       |
| 実施基準                         | 法令基準内 都基準内 区独自基準   |                    | 計画区分     | 計画                    | 非計画   |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]          |          |                       |       |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現「07」   |          |                       |       |
|                              | 施策   | 地域の健康と安全の確保[07-02] |          |                       |       |
| 目的                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民の健康を守るため、区内の大気汚染状況を把握する。</li> <li>・ 光化学スモッグ注意報の発令などがあった場合は、区民に周知して被害の発生を未然に防止する。</li> <li>・ 光化学オキシダントや浮遊粒子状物質などの大気汚染物質及び温室効果ガスの削減に向け、低公害車の導入促進、自動車の使用抑制やエコドライブの徹底などの啓発を行う。</li> </ul>   |                    |          |                       |       |
| 対象者等                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区民</li> <li>・ 自動車を保有・管理している各所管課</li> </ul>  |                    |          |                       |       |
| 内容                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大気汚染状況の把握（都の大気汚染常時測定局の測定データを収集し、区内の大気汚染状況を把握する。）<br/>測定項目：光化学オキシダント、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、二酸化硫黄など9項目<br/>区内の測定地点：第六瑞光小学校屋上</li> <li>2 浮遊粉じん及び金属成分等調査 調査項目：浮遊粉じん、鉄、亜鉛、鉛、発がん性物質の多環芳香族炭化水素など11項目、年6回 調査地点：がん予防・健康づくりセンター屋上</li> <li>3 酸性雨調査（一雨ごとに調査） 調査項目：水素イオン濃度、塩素イオン、硝酸イオン、硫酸イオンなど6項目 調査地点：がん予防・健康づくりセンター屋上</li> <li>4 眺望調査（大気汚染状況の把握のために、土・日・休日を除く毎朝調査している。）<br/>調査対象：富士山、新宿超高層ビル群など、遠近7カ所を対象 調査地点：区役所8階</li> <li>5 光化学スモッグ対策 光化学スモッグ情報などの発令・解除があった場合は、「荒川区光化学スモッグ緊急時措置要領」に基づき、区内全域に対しては防災無線などで、保育園や幼稚園・小中学校に対してはファクシミリで通報することにより、被害の発生を未然に防ぐ。</li> <li>6 区役所所有の低公害車導入率調査及びその啓発。</li> <li>7 ダイオキシン類の情報収集。</li> </ol> |                    |          |                       |       |
| 経過                           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 大気汚染状況の把握<br/>区独自の窒素酸化物測定局を尾久区民事務所に設けていたが、H9年度末に廃止</li> <li>2 浮遊粉じん及び金属成分等調査 S46～6カ所（直営）、H5～3カ所（委託）、H12～1カ所（委託）</li> <li>3 酸性雨調査 H6～</li> <li>4 眺望調査 H8～</li> </ol>   |                    |          |                       |       |
| 必要性                          | 区民の健康を守るため、大気の状態を定期的な調査により把握し、区民に周知するなど事業の継続が必要である。  |                    |          |                       |       |
| 実施方法                         | （2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）<br>1 大気汚染状況の把握、2 浮遊粉じん及び金属成分等調査については、(株)東京環境測定センター(荒川区)に全部委託した。(21年度委託料 607(千円) 年6回)<br>3 酸性雨調査(直営)、4 眺望調査(直営)、5 光化学スモッグ対策 直営(常勤+非常勤)   |                    |          |                       |       |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）        |         |        |        |       |       |       |      |
|---------------|----------------|---------|--------|--------|-------|-------|-------|------|
|               | 15年度           | 16年度    | 17年度   | 18年度   | 19年度  | 20年度  | 21年度  |      |
| 予算額           | 2,933          | 5,831   | 2,211  | 1,661  | 1,440 | 1,214 | 1,513 |      |
| 決算額（21年度は見込み） | 2,458          | 5,793   | 1,430  | 1,167  | 1,015 | 804   | 1,513 |      |
| 人件費           |                |         | 10,672 | 14,243 | 6,770 | 5,333 |       |      |
| 【事務分担量】（%）    |                |         | 160    | 210    | 115   | 95    |       |      |
| 合計（+）         | 2,458          | 5,793   | 12,102 | 15,410 | 7,785 | 6,137 | 1,513 |      |
| 国（特定財源）       |                |         |        |        |       |       |       |      |
| 都（特定財源）       |                |         |        |        |       |       |       |      |
| その他（特定財源）     |                |         |        |        |       |       |       |      |
| 一般財源          | 2,458          | 5,793   | 12,102 | 15,410 | 7,785 | 6,137 | 1,513 |      |
| 実績の推移         | 事項名            | 15年度    | 16年度   | 17年度   | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度 |
|               | 窒素酸化物の常時測定     | H9年度末廃止 | -      | -      | -     | -     | -     | -    |
|               | 浮遊粉じん・酸性雨・眺望調査 | 実施      | 実施     | 実施     | 実施    | 実施    | 実施    | 実施   |
|               | 光化学スモッグ対策      | 実施      | 実施     | 実施     | 実施    | 実施    | 実施    | 実施   |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算） |       |
|----------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|-------|
|          |       | 主な事項       |        | 主な事項       |        | 主な事項       |       |
|          |       | 金額（千円）     | 金額（千円） | 金額（千円）     | 金額（千円） |            |       |
|          | 一般需要費 | 調査用器具及び薬品  | 55     | 調査用器具及び薬品  | 47     | 調査用器具及び薬品  | 79    |
|          | 一般需用費 | 備品等修繕      | 0      | 物品修繕       | 0      | 物品修繕       | 30    |
|          | 委託料   | 浮遊粉じん等調査委  | 960    | 浮遊粉じん等調査委  | 757    | 浮遊粉じん等調査委  | 1,074 |
|          |       |            |        |            |        | 備品購入       | 330   |
|          |       |            |        |            |        |            |       |
|          |       |            |        |            |        |            |       |

| 指 標   | 事務事業の成果とする指標名                           | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明               |
|-------|---|-------|------|------|------|---------------|------------------------|
|       |   | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(23年度) |                        |
| 環 境 標 | 環境基準達成状況<br>(二酸化硫黄 SO <sub>2</sub> )    |       |      |      |      |               | : 環境基準達成<br>x: 環境基準未達成 |
|       | 環境基準達成状況<br>(一酸化炭素 CO)                  |       |      |      |      |               | : 環境基準達成<br>x: 環境基準未達成 |
|       | 環境基準達成状況<br>(浮遊粒子状物質 SPM)               |       |      |      |      |               | : 環境基準達成<br>x: 環境基準未達成 |
|       | 環境基準達成状況<br>(二酸化窒素 NO <sub>2</sub> )    |       |      |      |      |               | : 環境基準達成<br>x: 環境基準未達成 |
|       | 環境基準達成状況<br>(光化学オキシダント O <sub>x</sub> ) | ×     | ×    | ×    |      |               | : 環境基準達成<br>x: 環境基準未達成 |

|            |  |
|------------|--|
| (問題点・課題分析) | <ul style="list-style-type: none"> <li>都内における現在の主な大気汚染の原因は、自動車からの排出ガスである。については、あらゆる機会をとらえて、低公害車の導入促進や自動車の適正利用などの啓発を行う必要がある。</li> <li>大気汚染調査を行う義務は、原則として特別区にはないが、大多数の区が各種の大気汚染調査を実施している。</li> </ul> |
| 他区の実況      | （実施区 未実施区） 平成19年度実績<br>・区独自の大気汚染常時監視局設置 実施 20区 未実施 2区 荒川区は未実施（H9年度廃止）<br>・粉じん中の重金属調査 実施 7区 未実施 15区 荒川区は実施<br>・酸性雨調査 実施 8区 未実施 14区 荒川区は実施   |

| 問題点・課題の改善策検討  |   |
|---|---|
|   |   |
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容   | 改善により期待する効果                                 |
| 継続して各種調査などを実施し、区内の大気汚染状況を把握し、調査結果を速やかに公表して啓発を行う。  | 区民の大気環境への関心を高めるとともに、大気汚染物質や温室効果ガスの削減が期待できる。 |
| 低公害車の導入や自動車の利用抑制及び適正管理などについては、庁内各所管課や区民などに対し、あらゆる機会を捕らえて啓発を行う。                                      | 大気汚染物質や温室効果ガスの削減を図ることができる。                  |
| 区独自の大気汚染常時測定については、大気汚染防止法第22条で都道府県の事務と規程されている。したがって特別区に測定局設置及び測定の義務はないが、荒川区が設置することの可能性について引き続き検討する。 | 大気汚染物質常時監視測定局の適正配置につながる可能性がある。              |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                             |
|---------|-------|---|
| 前年度設定   | 今年度設定 |   |
| 継続      | 継続    | 環境交通の街づくりを荒川区から発信し、他自治体と連携して課題解決を図る必要がある。 |

|           |  |
|-----------|--|
| (状況) 議会要旨 | <ul style="list-style-type: none"> <li>都内の大気測定局数について（19年3定）</li> </ul> |
|-----------|--|



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |   |                    |          |           |   |
|------------------------------|---|--------------------|----------|-----------|---|
| 事務事業名                        | 水質汚濁対策  | 部課名                | 環境清掃部環境課 | 課長名       | 松土民雄  |
|                              |   | 担当者名               | 河合 功     | 内線        | 485   |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 水質汚濁対策費(28-01-07-01)  |                    |          |           |   |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）   |                    | 建設事業     | それ以外の継続事業 |   |
| 開始年度                         | 昭和  | 平成                 | 46年度     | 根拠        | 環境基本法、水質汚濁防止法、隅田川水系浄化対策連絡協議会規約、全国川サミット連絡協議会会則 |
| 終期設定                         | 有   | 無                  | 年度       | 法令等       |   |
| 実施基準                         | 法令基準内 都基準内 区独自基準  |                    | 計画区分     | 計画        | 非計画   |
| 行政評価事業体系                     | 分野  | 環境先進都市[ ]          |          |           |   |
|                              | 政策  | 地球環境を守るまちの実現[07]   |          |           |   |
|                              | 施策  | 地域の健康と安全の確保[07-02] |          |           |   |
| 目的                           | 区民の健康を保護し、環境保全の意欲と増進を図るため、公共用水域（隅田川）の水質状況を調査・把握する。隅田川の流域9区による水質浄化や水辺環境保全に向けた合同水質調査や啓発を行う。   |                    |          |           |   |
| 対象者等                         | 隅田川水系周辺に居住する住民  |                    |          |           |   |
| 内容                           | <p>1 隅田川の水質調査<br/>調査項目：水素イオン濃度、溶存酸素、生物化学的酸素要求量、浮遊物質、塩化物イオンなど<br/>調査地点：尾竹橋・年12回、小台橋・年2回<br/>平成20年度の尾竹橋における調査結果は、溶存酸素の環境基準達成率91.7%（11/12）、生物化学的酸素要求量の環境基準達成率100%（12/12）であった。</p> <p>2 隅田川の底質調査（環境基準はない）<br/>調査項目：鉛、砒素、総水銀、ポリ塩化ビフェニルなど16項目 調査地点：尾竹橋・年1回</p> <p>3 隅田川水系浄化対策連絡協議会<br/>本協議会は、隅田川とその支川である新河岸川、石神井川、白子川流域自治体（荒川、中央、台東、墨田、江東、北、板橋、練馬、足立の9区）が合同で、隅田川水系水質浄化及び水辺環境向上を目的に活動している。活動内容は、合同水質調査（年2回）、合同視察、講演会の開催、情報交換などである。</p> <p>4 全国川サミット連絡協議会<br/>一級河川名を名にする市区町村他を会員として、全国の川と流域との係わりや次代に向けてのより良い川との共生の方向を探り、川を利用したイベントを行い、川の理解を深め啓発普及を図る。</p> |                    |          |           |   |
| 経過                           | <p>1 隅田川の水質調査 白鬚橋、尾竹橋、小台橋の3地点について、年に各12回の調査を実施していたが、平成10年から2地点、年12+2回に変更した。以前は直営で行っていたが、平成5年度から委託で調査している。</p> <p>2 隅田川の底質調査 平成2年度に白鬚橋、尾竹橋、小台橋の3地点について、年に各1回で調査開始したが、平成10年度から尾竹橋1地点に変更した。以前は直営で行っていたが、平成5年度から委託で調査している。</p> <p>3 隅田川水系浄化対策連絡協議会 流域9区の相互協力により昭和53年度に発足し、以降、毎年活動を実施している。</p> <p>4 全国川サミット連絡協議会 平成4年に発足し、以降、イベントを毎年一回実施している。平成19年第16回全国川サミットin荒川（開催地：江戸川区）から参加している。</p>   |                    |          |           |   |
| 必要性                          | 区民の健康を守り、隅田川の水質浄化及び水辺環境向上及び環境保全への意欲の増進のため、調査など事業の継続が必要である。  |                    |          |           |   |
| 実施方法                         | （3委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）<br>委託先：株式会社 東京環境測定センター（荒川区） 委託料：212千円  |                    |          |           |   |

|            |                  | （単位：千円） |        |        |        |        |        |        |
|------------|------------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|            |                  | 15年度    | 16年度   | 17年度   | 18年度   | 19年度   | 20年度   | 21年度   |
| 予算・決算額等の推移 | 予算額              | 921     | 923    | 931    | 1,243  | 1,431  | 1,155  | 1,029  |
|            | 決算額（21年度は見込み）    | 907     | 879    | 739    | 726    | 681    | 855    | 1,029  |
|            | 人件費              |         |        | 5,694  | 6,456  | 4,758  | 4,723  |        |
|            | 【事務分担量】（%）       |         |        | 95     | 90     | 70     | 70     |        |
|            | 合計（+）            | 907     | 879    | 6,433  | 7,182  | 5,439  | 5,578  | 1,029  |
|            | 国（特定財源）          |         |        |        |        |        |        |        |
|            | 都（特定財源）          |         |        |        |        |        |        |        |
|            | その他（特定財源）        |         |        |        |        |        |        |        |
|            | 一般財源             | 907     | 879    | 6,433  | 7,182  | 5,439  | 5,578  | 1,029  |
|            | 実績の推移            | 事項名     | 15年度   | 16年度   | 17年度   | 18年度   | 19年度   | 20年度   |
|            | 隅田川水質調査 尾竹橋水質・底質 | 12回・1回  | 12回・1回 | 12回・1回 | 12回・1回 | 12回・1回 | 12回・1回 | 12回・1回 |
|            | 小台橋 水質           | 2回      | 2回     | 2回     | 2回     | 2回     | 2回     | 2回     |
|            | 計 水質・底質          | 14回・1回  | 14回・1回 | 14回・1回 | 14回・1回 | 14回・1回 | 14回・1回 | 14回・1回 |



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節       | 平成19年度（決算） |              | 平成20年度（決算） |              | 平成21年度（予算） |          |
|----------|------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|----------|
|          |            | 主な事項       | 金額（千円）       | 主な事項       | 金額（千円）       | 主な事項       | 金額（千円）   |
|          |            | 一般需用費      | 水質調査用消耗品     | 44         | 水質調査用消耗品     | 87         | 水質調査用消耗品 |
|          | 印刷製本（隅田川パン | 231        | 印刷製本（隅田川パンフ） | 311        | 印刷製本（隅田川パンフ） | 301        |          |
| 委託料      | 水質検査分析委託   | 306        | 水質検査分析委託     | 283        | 水質検査分析委託     | 439        |          |
| 旅費       |            |            | 川サミット参加旅費    | 73         | 川サミット参加旅費    | 129        |          |
| 負担金      | 全国川サミット参加  | 100        | 全国川サミット参加    | 100        | 全国川サミット参加    | 100        |          |
|          |            |            |              |            |              |            |          |

| 指 | 事務事業の成果とする指標名              | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明                |
|---|----------------------------|-------|------|------|------|---------------|-------------------------|
|   |                            | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |                         |
| 標 | 尾竹橋における生物化学的酸素要求量(BOD)達成状況 |       |      |      |      |               | : 環境基準達成<br>x : 環境基準未達成 |
|   | 隅田川水系浄化対策連絡協議会（活動回数）       | 8     | 8    | 8    |      | 8             | ・合同水質調査<br>・定例会、実務担当者会  |
|   | 全国川サミットに参加                 |       | 参加   | 参加   | 参加予定 | 参加予定          | 21年度開催地：秋田県横手町          |

|                  |   |
|------------------|---|
| （問題点・課題<br>指標分析） | <ul style="list-style-type: none"> <li>昭和60年度から協議会合同で隅田川浄化のための啓発用パンフレットや手帳等の作成・配布事業を継続してきたが、平成15年度からは各区独自に行うことになった。このため、平成18年度以降は荒川区独自で啓発パンフレット「わたしたちの隅田川」を作成し、区内全小学3年生に配布した。今後は、さらに内容の充実を図る必要がある。</li> <li>都は、小台橋・白鬚橋・両国橋等において毎月水質調査をおこなっており、特に小台橋は環境基準点になっている。これらの調査結果を速やかに区民へ周知し隅田川の水質に関心を持ってもらう必要がある。</li> <li>隅田川水系浄化対策連絡協議会は、昭和53年度に発足し30年経過した。要請行動は、平成16年度より行っていないが、各区が連携をとりながら、今後も地道な活動を継続していく必要がある。</li> </ul> |
| 他区の実況            | <p style="text-align: center;">（実施 19 区 未実施 3 区）</p> <p>河川等水質の定期測定 荒川区は月に1回実施</p>   |

| 問題点・課題の改善策検討  |  |
|---|--|
|   | 改善により期待する効果  |
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容   |  |
| 水質調査を継続し、都の測定結果などと比較検討することで、隅田川の水質状況を把握する。また、調査結果を速やかに公表し啓発を行う。 | 隅田川の水質の現状把握が図れる。水辺に親しむための情報発信となる。                    |
| 隅田川啓発パンフレット「わたしたちの隅田川」の内容を、より充実したものとしていく。                       | 隅田川を通して環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進を図る一助となる。水辺に親しむための情報発信となる。 |
| 隅田川水系浄化対策連絡協議会9区の連携を強くして活動できる抜本的な検討をする。                         | より効果的な隅田川の浄化対策が図れる。                                  |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等  |
|---------|-------|--|
| 前年度設定   | 今年度設定 |  |
| 推進      | 継続    | 川でつながる他自治体と連携して河川の浄化をするとともに、良好な河川環境の保全・創作を進め、区民の環境意識の高揚を図る必要がある。 |

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 議<br>会<br>要<br>質<br>問<br>状<br>況 | なし |
|---------------------------------|----|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |  |                    |          |                   |        |
|------------------------------|--|--------------------|----------|-------------------|--------|
| 事務事業名                        | 騒音・振動対策  | 部課名                | 環境清掃部環境課 | 課長名               | 松土 民雄  |
|                              |  | 担当者名               | 小山 丈晴    | 内線                | 485    |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 騒音・振動対策費(28-01-08-01)  |                    |          |                   |        |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                    | 建設事業     | それ以外の継続事業         |        |
| 開始年度                         | 昭和 平成  | 52 年度              | 根拠法令等    | 環境基本法、騒音基本法、振動規制法 |        |
| 終期設定                         | 有 無  | 年度                 |          |                   |        |
| 実施基準                         | 法令基準内  | 都基準内               | 区独自基準    | 計画区分              | 計画 非計画 |
| 行政評価事業体系                     | 分野   | 環境先進都市[ ]          |          |                   |        |
|                              | 政策   | 地球環境を守るまちの実現[07]   |          |                   |        |
|                              | 施策   | 地域の健康と安全の確保[07-02] |          |                   |        |
| 目的                           | 区民の生活環境を守るため、自動車騒音の常時監視を継続的に行い、環境基準の達成状況を面的・長期的に把握する。また、道路及び鉄道（新幹線・在来線）の騒音・振動及び交通量の実態を把握する。  |                    |          |                   |        |
| 対象者等                         | 区民   |                    |          |                   |        |
| 内容                           | <p>1 自動車騒音の常時監視<br/>区内主要幹線道路の基準点などにおいて調査を実施し、実態を把握するとともに調査結果を国に報告する。<br/>調査項目：騒音、交通量、沿道の状況、背後地の状況 騒音と交通量の測定時間は24時間。<br/>平成19年度調査地点：尾竹橋通り(東日暮里3丁目)、小台通り(西尾久1丁目)の2地点。<br/>平成19年度の調査結果は、尾竹橋通り、小台通りともに環境基準を達成した。平成20年度調査地点は、尾竹橋通り、尾久橋通りの2地点の予定。</p> <p>2 道路交通騒音・振動調査<br/>調査項目：騒音、振動、交通量 騒音と振動の測定時間は、原則として96時間。<br/>調査地点：日光街道、明治通り、尾久橋通り、尾竹橋通り(2地点)、日暮里中央通り、旭電化通りの計7地点。<br/>平成19年度の調査結果は、尾竹橋通り(昼間)2地点、日暮里中央通り(昼間)を除いて、環境基準を超えた。</p> <p>3 新幹線鉄道騒音調査<br/>調査時期：3年ごとに実施 平成17年度に新幹線鉄道騒音調査を実施し、次回は平成20年度の予定。</p> <p>4 在来線鉄道騒音調査 必要に応じて、京成線や常磐線などの調査を行う。</p> |                    |          |                   |        |
| 経過                           | <p>自動車騒音の常時監視 H15年4月に都から特別区に移譲された法定受託事務である。</p> <p>道路交通騒音・振動調査 以前は5地点で実施していたが、H元年度から7地点で調査を行っている。</p> <p>新幹線鉄道騒音調査 S60・61年度、H2・5・8・11・14年度及びH17年度に実施した。</p> <p>在来線鉄道騒音調査 京成線高架部分の大規模改修工事に係る調査として、H16年度に京成線、</p>  |                    |          |                   |        |
| 必要性                          | 区民の生活環境を守るため、継続的な調査が必要である。   |                    |          |                   |        |
| 実施方法                         | <p>( 二部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )</p> <p>自動車騒音の常時監視 全部委託 委託料(予算額) 1,500千円</p> <p>道路交通騒音・振動調査 新幹線鉄道騒音調査 在来線鉄道騒音調査 直営</p>  |                    |          |                   |        |

| 予算・決算額等の推移    | (単位：千円)  |       |        |       |       |       |       |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
|---------------|--|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--|-----|------|------|------|------|------|------|------|------------|----|----|----|----|----|----|----|-------------|----|----|----|----|----|----|----|-----------|--|--|----|--|--|----|--|
|               | 15年度   | 16年度  | 17年度   | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度  |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 予算額           | 3,205  | 2,719 | 3,045  | 3,142 | 2,204 | 1,600 | 1,548 |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 決算額(21年度は見込み) | 3,095  | 2,094 | 2,078  | 1,495 | 1,203 | 1,600 | 1,548 |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 人件費           |  |       | 11,874 | 7,310 | 5,185 | 6,147 |       |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 【事務分担当】(%)    |  |       | 145    | 100   | 75    | 90    |       |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 合計(+)         | 3,095  | 2,094 | 13,952 | 8,805 | 6,388 | 7,747 | 1,548 |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 国(特定財源)       |  |       |        |       |       |       |       |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 都(特定財源)       |  |       |        |       |       |       |       |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| その他(特定財源)     |  |       |        |       |       |       |       |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 一般財源          | 3,095  | 2,094 | 13,952 | 8,805 | 6,388 | 7,747 | 1,548 |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 実績の推移         | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">事項名</th> <th style="width: 15%;">15年度</th> <th style="width: 15%;">16年度</th> <th style="width: 15%;">17年度</th> <th style="width: 15%;">18年度</th> <th style="width: 15%;">19年度</th> <th style="width: 15%;">20年度</th> <th style="width: 15%;">21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車騒音の常時監視</td> <td>開始</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>道路交通騒音・振動調査</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> <tr> <td>新幹線鉄道騒音調査</td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td></td> <td></td> <td>実施</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |       |        |       |       |       |       |  | 事項名 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 自動車騒音の常時監視 | 開始 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 道路交通騒音・振動調査 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 新幹線鉄道騒音調査 |  |  | 実施 |  |  | 実施 |  |
| 事項名           | 15年度   | 16年度  | 17年度   | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度  |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 自動車騒音の常時監視    | 開始   | 実施    | 実施     | 実施    | 実施    | 実施    | 実施    |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 道路交通騒音・振動調査   | 実施   | 実施    | 実施     | 実施    | 実施    | 実施    | 実施    |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |
| 新幹線鉄道騒音調査     |  |       | 実施     |       |       | 実施    |       |  |     |      |      |      |      |      |      |      |            |    |    |    |    |    |    |    |             |    |    |    |    |    |    |    |           |  |  |    |  |  |    |  |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算） |        |
|----------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |       | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 報償費   | 自動車騒音振動調査  | 12     | 自動車騒音振動調査  | 12     | 自動車騒音振動調査  | 15     |
|          | 一般需用費 | 消耗品購入      | 19     | 消耗品購入      | 16     | 消耗品購入      | 41     |
|          |       | 物品修繕       | 6      | 自動車騒音常時監視  | 966    | 物品修繕       | 60     |
|          | 委託料   | 自動車騒音常時監視  | 1,166  | 騒音計点検      | 51     | 自動車騒音常時監視  | 1,281  |
|          |       |            |        |            |        | 騒音計点検      | 151    |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移          |                |                |      |                | 指標に関する説明                         |
|----|---------------|----------------|----------------|----------------|------|----------------|----------------------------------|
|    |               | 18年度           | 19年度           | 20年度           | 21年度 | 目標値<br>(22年度)  |                                  |
| 標  | 自動車騒音環境基準達成状況 | 昼:2/7<br>夜:0/7 | 昼:3/7<br>夜:0/7 | 昼:2/7<br>夜:0/7 |      | 昼:7/7<br>夜:7/7 | 分子:達成地点数<br>分母:調査地点数(7地点)        |
|    | 常時監視環境基準達成率   | 昼100<br>夜86.1  | 昼99.4<br>夜97.7 | 昼100<br>夜100   |      | 昼:100<br>夜:100 | 評価範囲内の住宅のうち、環境基準を達成した住宅の割合(単位:%) |

|          |   |
|----------|---|
| (問題点・課題) | <p>日暮里駅総合改善事業(平成21年度竣工予定)に伴い、西日暮里2丁目など日暮里駅付近の京成線の大規模工事が行われている。</p> <p>要請限度を超過している道路はないが、環境基準を超過している道路が昼間4地点、夜間全地点である。</p> |
|----------|---|

|       |   |
|-------|---|
| 他区の実況 | <p>(実施区 未実施区)</p> <p>自動車騒音の常時監視 実施 22区</p> <p>道路交通騒音・振動調査 実施 22区</p> <p>鉄道騒音・振動調査 実施 10区 未実施 12区 荒川区は実施予定</p> |
|-------|---|

| 問題点・課題の改善策検討 |                                       |                       |
|--------------|---------------------------------------|-----------------------|
|              | 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容                 | 改善により期待する効果           |
|              | 自動車騒音の常時監視の調査を行うために適切な区間を選定し、調査を実施する。 | 法の趣旨に沿った、適切な調査が実施できる。 |
|              | 区内7地点の道路交通騒音振動調査を実施する。                | 騒音対策を講じるための基礎資料となる。   |
|              | 日暮里駅総合改善事業竣工後、必要があれば騒音調査を実施する。        | 騒音対策を講じるための基礎資料となる。   |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等                   |
|---------|-------|---------------------------------|
| 前年度設定   | 今年度設定 |                                 |
| 推進      | 継続    | 公害の発生原因や苦情の背景を分析し、課題解決を図る必要がある。 |

|            |    |
|------------|----|
| 況議(要旨)問(状) | なし |
|------------|----|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |   |                    |        |           |                          |
|------------------------------|---|--------------------|--------|-----------|--------------------------|
| 事務事業名                        | 特殊有害物質処分  | 部課名                | 環境課    | 課長名       | 松土 民雄                    |
|                              |   | 担当者名               | 菅野 修一郎 | 内線        | 内線483                    |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 特殊有害物質処分費(28-01-09-01)  |                    |        |           |                          |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）   |                    | 建設事業   | それ以外の継続事業 |                          |
| 開始年度                         | 昭和  | 平成                 | 18年度   | 根拠        | PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 |
| 終期設定                         | 有   | 無                  | 22年度   | 法令等       |                          |
| 実施基準                         | 法令基準内   | 都基準内               | 区独自基準  | 計画区分      | 計画 非計画                   |
| 行政評価事業体系                     | 分野  | 環境先進都市[ ]          |        |           |                          |
|                              | 政策  | 地球環境を守るまちの実現[07]   |        |           |                          |
|                              | 施策  | 地域の健康と安全の確保[07-02] |        |           |                          |
| 目的                           | ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、PCB廃棄物の保管、処分等について、確実かつ適正な処理をおこない、区民の健康の保護及び生活環境の保全を図ることを目的とする。  |                    |        |           |                          |
| 対象者等                         | ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物   |                    |        |           |                          |
| 内容                           | <p>PCBが難分解性であり、かつ、人の健康及び生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質であること、並びにわが国においてPCB廃棄物が長期にわたり処分されていない状況にあるため、PCB廃棄物の保管、処分等について、特別措置法による規制が行われた。</p> <p>（特別措置法の概略）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PCB廃棄物の処理計画の策定</li> <li>・PCB廃棄物を保管している事業者の保管・処分状況の届出</li> <li>・法施行日（平成13年7月15日）から起算して15年以内に処分</li> </ul> <p>これにより、区のPCB廃棄物の処分は、平成18年度に一括処理を予定していたが、処理施設の事故等により、処理予定が変更され、平成19年度、平成20年度にそれぞれ1/2の処理を予定していた。しかし、平成19年度の日本環境安全事業㈱の説明会（8月3日実施）で平成19年度の処理ができなかった。平成20年度になって高圧コンデンサ17台を処分した。</p> <p>（参考）区で保管しているPCB：トランス・コンデンサ類 1,312kg<br/>安定器 6,920kg</p> |                    |        |           |                          |
| 経過                           | <p>平成18年度 処理施設の事故等により処分委託できず</p> <p>平成19年度 処理施設の事故等の影響により処分委託できず</p> <p>平成20年度 高圧コンデンサ17台（362kg）を処分</p>   |                    |        |           |                          |
| 必要性                          | PCBが難分解性であり、かつ、人の健康及び生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質であることから、速やかに処分することが必要である。   |                    |        |           |                          |
| 実施方法                         | <p>（3委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>当初予定 ・特殊有害物質運搬費（予算：役務費 1,000千円）<br/>・特殊有害物質処分費（予算：委託料11,000千円）<br/>委託先：日本安全事業㈱（100%政府出資）</p>   |                    |        |           |                          |

|               |         | （単位：千円） |      |      |      |        |        |        |
|---------------|---------|---------|------|------|------|--------|--------|--------|
| 予算・決算額等の推移    |         | 15年度    | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度   | 20年度   | 21年度   |
|               | 予算額     |         |      |      |      | 43,200 | 21,600 | 12,000 |
| 決算額（21年度は見込み） |         |         |      |      | 0    | 0      | 9,378  | 10,400 |
| 人件費           |         |         |      |      |      | 0      | 2,965  |        |
| 【事務分担当】（%）    |         |         |      |      |      | 0      | 35     |        |
| 合計（+）         |         | 0       | 0    | 0    | 0    | 0      | 12,343 | 10,400 |
| 国（特定財源）       |         |         |      |      |      |        |        |        |
| 都（特定財源）       |         |         |      |      |      |        |        |        |
| その他（特定財源）     |         |         |      |      |      |        |        |        |
| 一般財源          |         | 0       | 0    | 0    | 0    | 0      | 12,343 | 10,400 |
| 実績の推移         | 事項名     | 15年度    | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度   | 20年度   | 21年度   |
|               | PCB廃棄処分 |         |      |      |      | 未実施    | 実施     | 実施     |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節 | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算） |        |
|----------|------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |      | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 役務費  | 特殊有害物質運搬費  | 0      | 特殊有害物質運搬費  | 210    | 特殊有害物質運搬費  | 1,000  |
|          | 委託料  | 特殊有害物質処分委託 | 0      | 特殊有害物質処分委託 | 9,169  | 特殊有害物質処分委託 | 9,000  |
|          |      |            |        |            |        | PCB定量分析    | 400    |
|          |      |            |        |            |        |            |        |
|          |      |            |        |            |        |            |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名      | 指標の推移 |       |       |       |               | 指標に関する説明                            |
|----|--------------------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------------------------------------|
|    |                    | 18年度  | 19年度  | 20年度  | 21年度  | 目標値<br>(22年度) |                                     |
|    | P C B 廃棄物の区保管量（kg） | 8,594 | 8,594 | 8,594 | 8,232 | 0             | P C B 廃棄物の保管全量を20年度、21年度、22年度で処分する。 |
|    |                    |       |       |       |       |               |                                     |
|    |                    |       |       |       |       |               |                                     |

|          |   |
|----------|---|
| （問題点・課題） | <p>P C B 廃棄物処分事業者が日本環境安全事業(株)（100%政府出資）1社であり、事故等により、現計画どおり処分が進捗しない可能性がある。</p> <p>平成20年度の処分は、旧道灌山中学校、旧真土小学校に保管している、高圧コンデンサ17台（362kg）を処分委託した。</p> |
| 他区の実況    | <p style="text-align: center;">（実施区 未実施区）</p> <p>処分事業者が1社であるため、他の22区も同様の状況である</p>   |

| 問題点・課題の改善策検討  |                  |
|---|------------------|
|   |                  |
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容                                       | 改善により期待する効果      |
| 平成22年度に高圧コンデンサのすべてを処分する。安定器については、処分事業者の受入れが可能となり次第処分を進めていく。 |                  |
| 安定器の処分時期が未確定のため、漏洩事故防止のため、保管方法の検討を行う。                       | 安全の確保（危害防止、漏洩防止） |
|   |                  |

| 事務事業の分類 |       | 分類についての説明・意見等      |
|---------|-------|--------------------|
| 前年度設定   | 今年度設定 |                    |
| 継続      | 継続    | 特別措置法に基づき、適切に処理する。 |

|        |  |
|--------|--|
| 議会議決要旨 |  |
|--------|--|



# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                              |   |                  |          |                   |        |
|------------------------------|---|------------------|----------|-------------------|--------|
| 事務事業名                        | 低炭素地域づくりの推進   | 部課名              | 環境清掃部環境課 | 課長名               | 松土 民雄  |
|                              |   | 担当者名             | 白石 亜以    | 内線                | 482    |
| 事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度） | 環境推進事務費（28-01-03-01）  |                  |          |                   |        |
| 事務事業の種類                      | 新規事業（21年度 20年度）   |                  | 建設事業     | それ以外の継続事業         |        |
| 開始年度                         | 昭和 平成   | 20 年度            | 根拠       | 地球温暖化対策の推進に関する法律、 |        |
| 終期設定                         | 有 無   | 年度               | 法令等      | 荒川区環境基本計画         |        |
| 実施基準                         | 法令基準内   | 都基準内             | 区独自基準    | 計画区分              | 計画 非計画 |
| 行政評価事業体系                     | 分野  | 環境先進都市[ ]        |          |                   |        |
|                              | 政策  | 地球環境を守るまちの実現[07] |          |                   |        |
|                              | 施策  | 環境配慮活動の推進[07-01] |          |                   |        |
| 目的                           | 地球温暖化防止のため、区民、事業者、区等が協働して、CO <sub>2</sub> 削減に向けた対策の協議、計画の策定及びその推進を進め、荒川区において低炭素型地域社会の構築を目指す。  |                  |          |                   |        |
| 対象者等                         | 区民、事業者、区来訪者、区   |                  |          |                   |        |
| 内容                           | <p>1 推進組織</p> <p>(1) 20年度 荒川区「環境行動計画モデル事業」協議会（EST協議会）<br/>【19年4月26日設立、委員43名】</p> <p>(2) 21年度 荒川区低炭素地域づくり協議会（以下地域協議会という）<br/>【21年6月1日設立、委員19名】</p> <p>2 実施内容</p> <p>(1) 環境省委託事業「低炭素地域づくり面的対策推進事業」として、地域の実情に即した温暖化対策を検討し、公共交通の利用や再生可能エネルギーの導入促進策等の面的な対策を盛り込んだ、CO<sub>2</sub>削減のための地域計画を、22年2月までに1の(2)の協議会において策定する。</p> <p>(2) 2(1)の計画策定の基礎調査として、区民2000名と事業所500件を対象とした、温暖化対策についての意識アンケート調査を区で実施する。</p> |                  |          |                   |        |
| 経過                           | <p>20年6月 環境省「低炭素地域づくり面的対策推進事業」採択</p> <p>20年6月～21年2月 荒川区「環境行動計画モデル事業」協議会において、運輸部門における温暖化対策を先行して検討し、報告書としてとりまとめた。</p> <p>21年6月 荒川区低炭素地域づくり協議会設立</p>   |                  |          |                   |        |
| 必要性                          | 低炭素型地域社会を築き、地球温暖化を防止するためには、区民、事業者、区が協働し、それぞれにおいて、計画的かつ継続的に、具体的な行動をとる必要がある。そうした行動の基となる、低炭素地域づくりのための計画を、様々な主体が参加した地域協議会で協議し策定することは、必要性が高い。  |                  |          |                   |        |
| 実施方法                         | <p>（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>低炭素地域づくり面的対策推進事業委託（環境省）</p>   |                  |          |                   |        |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）    |      |      |      |      |      |       |      |
|---------------|------------|------|------|------|------|------|-------|------|
|               | 15年度       | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度  |      |
| 予算額           |            |      |      |      |      |      | 4,523 |      |
| 決算額（21年度は見込み） |            |      |      |      |      |      |       |      |
| 人件費           |            |      |      |      |      |      |       |      |
| 【事務分担量】（%）    |            |      |      |      |      |      |       |      |
| 合計（+）         | 0          | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     |      |
| 国（特定財源）       |            |      |      |      |      |      |       |      |
| 都（特定財源）       |            |      |      |      |      |      |       |      |
| その他（特定財源）     |            |      |      |      |      |      |       |      |
| 一般財源          | 0          | 0    | 0    | 0    | 0    | 0    | 0     |      |
| 実績の推移         | 事項名        | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度  | 21年度 |
|               | 会議・協議会等開催数 |      |      |      |      |      | 10    | 11   |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節       | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算）       |        |
|----------|------------|------------|--------|------------|--------|------------------|--------|
|          |            | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項             | 金額（千円） |
|          | 8報償費       |            |        |            |        | 低炭素地域づくり協議会委員謝礼  | 497    |
|          | 11(2)食料費   |            |        |            |        | 低炭素地域づくり協議会購入    | 17     |
|          | 11(4)一般需用費 |            |        |            |        | 低炭素地域づくり協議会運営消耗品 | 10     |
|          | 13委託料      |            |        |            |        | アンケートを含む基礎調査等    | 4,000  |
|          |            |            |        |            |        |                  |        |
|          |            |            |        |            |        |                  |        |

| 指標 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明                 |
|----|---------------|-------|------|------|------|---------------|--------------------------|
|    |               | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |                          |
| 標  | 会議・協議会等開催数    |       |      | 10   | 11   |               | 住民・事業者・行政等が温暖化対策を検討する会議数 |
|    |               |       |      |      |      |               |                          |
|    |               |       |      |      |      |               |                          |

|          |   |
|----------|---|
| （問題点・課題） | <p>・20年度は、運輸部門におけるCO<sub>2</sub>排出量削減のための検討を行い、EST協議会では、実際に環境交通施策を行ってきた。しかし、荒川区におけるCO<sub>2</sub>排出量の大きな割合を占め、また排出量も増加している家庭部門・業務部門における対策が総合的に検討されておらず、またその対策の推進体制も整っていない。</p> <p>・地域協議会で策定する計画を、今後、区民・事業者・行政等が実際に具体的な行動として推進していくためには、計画の策定の段階から、さらに広く区民の意見を取り入れる必要がある。</p> <p>・環境省の委託事業の対象事業として事業実施するため、スケジュール上の制約がある。</p> |
| 他区の実況    | <p>（実施 0 区 未実施 22 区）</p> <p>・20年度環境省低炭素地域づくり面的対策推進事業の実施地域選定は、全国で25地域、都内唯一採択</p>   |

| 問題点・課題の改善策検討  |   |
|---|---|
| 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容                                       | 改善により期待する効果   |
| 区で実施するアンケート調査結果等に基づいて、家庭・業務部門における対策を盛り込んだ計画を策定し、その推進体制を整える。 | 運輸部門だけでなく、総合的に荒川区における低炭素地域づくりが促進される。                      |
| 「地球を守る区民会議」等を通して、地域協議会での検討状況についての情報提供を行うとともに、意見を受け付ける。      | より広く区民の意見を取り入れることができ、今後の計画の推進につながることを期待できる。               |
| 委託事業の受託者となる支援事業者との連携を密にし、全5回の地域協議会及びワーキンググループ等での検討を計画的に進める。 | 22年2月までの短期間に、地域協議会において、低炭素地域づくりのための計画を策定し、環境省に報告することができる。 |

| 事務事業の分類 |        | 分類についての説明・意見等                                    |
|---------|--------|--|
| 前年度設定   | 今年度設定  |  |
| ——      | 重点的に推進 | 低炭素型の地域社会の構築を目指して、数値目標を設定した低炭素地域づくり計画を策定する必要がある。 |

|                      |  |
|----------------------|--|
| 況議<br>（要旨）<br>問<br>状 |  |
|----------------------|--|

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No1

|                                     |  |                  |              |                     |        |
|-------------------------------------|--|------------------|--------------|---------------------|--------|
| <b>事務事業名</b>                        | 良好な生活環境の確保   | <b>部課名</b>       | 環境清掃部環境課     | <b>課長名</b>          | 松土 民雄  |
|                                     |  | <b>担当者名</b>      | 菅野 修一郎       | <b>内線</b>           | 483    |
| <b>事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（21年度）</b> | 生活環境審査会運営費（28-01-14-01）  |                  |              |                     |        |
| <b>事務事業の種類</b>                      | 新規事業（21年度 20年度）  |                  | 建設事業         | それ以外の継続事業           |        |
| <b>開始年度</b>                         | 昭和 平成  | 21 年度            | <b>根拠法令等</b> | 荒川区良好な生活環境の確保に関する条例 |        |
| <b>終期設定</b>                         | 有 無  | 年度               |              |                     |        |
| <b>実施基準</b>                         | 法令基準内  | 都基準内             | 区独自基準        | <b>計画区分</b>         | 計画 非計画 |
| <b>行政評価事業体系</b>                     | <b>分野</b>  | 環境先進都市[ ]        |              |                     |        |
|                                     | <b>政策</b>  | 地球環境を守るまちの実現[07] |              |                     |        |
|                                     | <b>施策</b>  | 環境配慮活動の推進[07-01] |              |                     |        |
| <b>目的</b>                           | 健康で快適な生活環境を守るため、これまで法令等に規定がなかった迷惑行為に対して、条例により、問題となる行為を抑止し、解決までの道筋を明らかにすることにより、区民の良好な生活環境を確保することを目的とする。   |                  |              |                     |        |
| <b>対象者等</b>                         | 区・区民・事業者等  |                  |              |                     |        |
| <b>内容</b>                           | <p>・区は「良好な生活環境の確保に関する条例」を制定し、平成21年4月より施行した。この条例は、区民等に対し、健康で快適な生活を阻害する行為の防止について必要な事項を定めたものである。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">条例の適用図</p> <p>被害が発生している周辺住民からの申出<br/>↓<br/>区が実態調査し、必要がある場合には、荒川区生活環境審査会の意見を聴いた上で立ち入り調査を行う<br/>立ち入り調査の拒否、虚偽の回答等をした時は罰金<br/>↓<br/>実態調査や立ち入り調査の結果、区が周辺住民の生活環境に係る被害を防止する必要があると判断したとき、勧告を行う<br/>↓<br/>勧告に従わない時は、期限を定めて命令を出すために審査会意見を聴く<br/>↓<br/>期限を定めて命令をだす。命令に違反した時は、警察に告発する</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>給餌による不良状態の禁止<br/>自ら所有せず、かつ、占有しない動物に給餌することにより不良状態を生じさせることを禁止します。</p> <p>給餌による不良状態とは、次の三つの条件がそろった状態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境に係る被害が生じていること</li> <li>・複数の住民から苦情の申出があること</li> <li>・周辺住民の間で被害の発生が共通認識になっていること</li> </ul> <p>廃棄物等による不良状態の禁止<br/>土地または建築物を所有し、占有し、または管理する物は、その土地等を廃棄物等による不良状態にすることを禁止します。</p> </div> </div> |                  |              |                     |        |
| <b>経過</b>                           | 平成21年4月1日「良好な生活環境の確保に関する条例」を施行<br>条例に基づく「生活環境審査会」を設置   |                  |              |                     |        |
| <b>必要性</b>                          | 本条例は、地域における良好な生活環境を守るためのもので、地域の要望に基づき、これまで規定のなかった迷惑行為を明文化し、問題の抑止効果を期待するとともに、解決に向けた道筋を示したものであり、必要性は高い。  |                  |              |                     |        |
| <b>実施方法</b>                         | 1直営 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 )  |                  |              |                     |        |

| 予算・決算額等の推移    | （単位：千円）    |             |             |             |             |             |             |             |
|---------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|               | 15年度       | 16年度        | 17年度        | 18年度        | 19年度        | 20年度        | 21年度        |             |
| 予算額           |            |             |             |             |             |             | 1,101       |             |
| 決算額（21年度は見込み） |            |             |             |             |             |             |             |             |
| 人件費           |            |             |             |             |             |             |             |             |
| 【事務分担量】（%）    |            |             |             |             |             |             |             |             |
| 合計（+）         | 0          | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| 国（特定財源）       |            |             |             |             |             |             |             |             |
| 都（特定財源）       |            |             |             |             |             |             |             |             |
| その他（特定財源）     |            |             |             |             |             |             |             |             |
| 一般財源          | 0          | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |             |
| <b>実績の推移</b>  | <b>事項名</b> | <b>15年度</b> | <b>16年度</b> | <b>17年度</b> | <b>18年度</b> | <b>19年度</b> | <b>20年度</b> | <b>21年度</b> |
|               |            |             |             |             |             |             |             |             |
|               |            |             |             |             |             |             |             |             |
|               |            |             |             |             |             |             |             |             |

# 事務事業分析シート（平成21年度）

No2

| 予算・決算の内訳 | 節・細節  | 平成19年度（決算） |        | 平成20年度（決算） |        | 平成21年度（予算） |        |
|----------|-------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
|          |       | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） | 主な事項       | 金額（千円） |
|          | 委員報酬  |            |        |            |        | 審査会委員報酬    | 507    |
|          | 特別旅費  |            |        |            |        | 委員会出席者旅費   | 38     |
|          | 食糧費   |            |        |            |        | 審査会賄い（お茶等） | 9      |
|          | 一般需用費 |            |        |            |        | 迷惑防止ポスター印刷 | 374    |
|          | 役務費   |            |        |            |        | 会議テープ反訳    | 173    |
|          |       |            |        |            |        |            |        |

| 指 | 事務事業の成果とする指標名 | 指標の推移 |      |      |      |               | 指標に関する説明 |
|---|---------------|-------|------|------|------|---------------|----------|
|   |               | 18年度  | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 目標値<br>(22年度) |          |
| 標 |               |       |      |      |      |               |          |
|   |               |       |      |      |      |               |          |
|   |               |       |      |      |      |               |          |

|          |  |
|----------|--|
| （問題点・課題） | 健康で快適な生活環境を守るため、「良好な生活環境の確保に関する条例」を制定し、平成21年4月より施行となった。この条例の運用等による迷惑行為の解決が課題である。 |
| 他区の実況    | （ 実施 区                      未実施 区 ）  |

| 問題点・課題の改善策検討 |   |                      |
|--------------|---|----------------------|
|              | 平成22年度以降に取り組む具体的な改善内容   | 改善により期待する効果          |
|              | 迷惑行為への対応は、環境清掃部だけでなく、都市整備部、土木部、区民生活部、福祉部、保健所等と問題を共有化し、連携して解決を図っていく。 | 問題の共有化が進み、早期解決が図られる。 |
|              |   |                      |
|              |   |                      |

| 事務事業の分類 |        | 分類についての説明・意見等                  |
|---------|--------|--------------------------------|
| 前年度設定   | 今年度設定  |                                |
|         | 重点的に推進 | 区民の健康で快適な生活環境を守るための重要な取り組みである。 |

|          |  |
|----------|--|
| 議会議決（要旨） | 20年3定 条例（案）を提出し、可決<br>21年2定 進捗状況について質問 |
|----------|--|